

江陽小学校南舎トイレ改修工事

図 面 リ ス ト

意 匠 図							
A-01	改修特記仕様書(1)	A-11	3階平面図【参考図】	A-21	断面図【参考図】		
A-02	改修特記仕様書(2)	A-12	1・2階普通教室トイレ 平面詳細図【改修前】【改修後】				
A-03	改修特記仕様書(3)	A-13	1・2階普通教室トイレ 展開図 1 【改修前】【改修後】				
A-04	改修特記仕様書(4)	A-14	1・2階普通教室トイレ 展開図 2 【改修前】【改修後】				
A-05	改修特記仕様書(5)	A-15	天井伏図 【改修前】【改修後】				
A-06	配置図・付近見取図	A-16	1・2階建具配置図 【参考図】				
A-07	外部仮設計画図	A-17	建具リスト 1【改修前】				
A-08	仕上表	A-18	建具リスト 2【改修後】				
A-09	1階平面図兼仮設計画図	A-19	部分詳細図【改修前】【改修後】				
A-10	2階平面図兼仮設計画図	A-20	サイン図				

江陽小学校南舎トイレ改修工事 特記仕様書		2025.10
I 工事概要		
1. 工事場所	高知市江陽町1番30号	
2. 工事種目	【南舎】鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積 2,724㎡ トイレ改修 一式	
3. 関連工事等	○電気設備工事 ○機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事	
4. 概成工期	・完成期限の()日(令和 年 月 日)	
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)	○現場作業完了後からは、全ての工事範囲を部分使用する。	
II 建築工事仕様		
1. 特記仕様		
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の()内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		
2. 適用基準等 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ○公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ○公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ○建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ○建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)		
3. 「週休2日制工事」の実施について ※対象 (○) 選択-I型 () 選択-II型 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休日の基本とする「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領(営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html) ・対象外(理由:)		
4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について ※対象 ・見込んでいない(理由: ※過去のWBG値に基づき算定した日数が0日のため) また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。 ・対象外(理由:)		

項目		特記事項
一般共通事項		
① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ」テクリス登録等に関する規約)による。 [1.1.4]	
② 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。 [1.2.3]	
③ 総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3]	
④ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。	
⑤ 工事写真	工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による。	
⑥ 下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。 [1.3.3]	
7 電気保安技術者	適用する。 [1.3.3]	
⑧ 施工条件	施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] ・ 施工順序 ・ 図示 工用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ○ 図示 その他の施工条件 ○ 資機材の搬出入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車を含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導員を配置し、公道まで徐行する。 ○ 昼下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○ 現場着手は、令和8年7月21日以降とする。ただし、現地調査は除く。 ○ 撤去作業は、令和8年8月31日までとする。 ○ A-07図参照	
⑨ 交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に処置できると監督職員が認めたものについては、この限りでないとする。 配置人員等 ・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ・ 作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○ 監督職員と協議し、適宜配置する。	

項目	特記事項
⑩ 工事安全計画書	配置人員の資格 ・ 1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※ 交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 資格要件 1. 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A) 交通誘導警備員に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認められたもの 2. 交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B) 警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経歴年数)が1年以上であるもの 20人 なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。
⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。
⑫ 発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場での処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・ 引渡しを要するもの () ・ 現場再利用を図るもの () ○ 再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート)
⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)	再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(コブリス・プラス)により作成し、提出は以下による。 a) コブリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ(https://fkplus.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場提示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。
⑭ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。
⑮ 契約保証	※ 金銭的保証方式 ・ 有 ○ 無
⑯ 前払金支出割合区分補正	
⑰ 証明書の提出(グリーン購入法)	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]
⑱ 石綿含有建材の調査	事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※ 改修範囲 貸与資料 ※ 有 (○) 既存の設計図書 ○ 石綿含有建材分析調査報告書() 調査結果: ビニルシート(含有無し) ケイ酸カルシウム板(含有無し) 化粧石膏ボード(含有無し)
分析調査	※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、調査建材名 検体数 ・ 行う () 調査建材使用部位 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。

項目	特記事項
19 施工数量調査	調査範囲 ※ 図示 ・ 改修建物の外壁、軒天、バラベッコ [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する) [1.7.2][1.7.3]
⑳ 技能士及び技能資格者	※ 適用する (○: 一級, ●: 二級) [1.7.2][1.7.3] 工事種別 技能検定の作業の種類別 ○ 仮設工事 ※ ● とび作業(又は足場組立作業主任者) ・ 鉄筋工事 ※ ○ 鉄筋組立作業 ・ コンクリート工事 ※ ○ コンクリート圧送工事作業 ○ 型枠工事作業 ・ 鉄骨工事 ※ ● とび作業 ・ ブロック・ALCパネル工事 ※ ○ コンクリートブロック工事作業 (単一)エーエルシーパネル工事作業 ○ 防水工事 ※ ○ アスファルト防水工事作業 ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ○ 合成ゴムシート防水工事作業 ○ 塩化ビニルシート防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ○ 改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ・ 石工事 ※ ○ 石張り作業 ・ タイル工事 ※ ○ タイル張り作業 ・ 木工事 ※ ○ 大工工事作業 ・ 屋根及びとい工事 ※ ○ かわらぶき ※ スレート工事作業 ○ 内外装板金作業 ○ 金属工事 ○ 鋼製下地工事作業 (単一)金属製バルコニー工事作業 ○ 左官工事 ※ ○ 左官作業 ・ 建具工事 ※ ○ ビル用サッシ施工作業 ○ 木製建具製作 ○ ガラス工事作業 ・ カーテンウォール工事 ※ ○ 金属製カーテンウォール工事作業 ○ 塗装工事 ※ ○ 建築塗装作業 ○ 内装工事 ○ ○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業 ○ ● カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 畳製作作業 ○ ○ ボード仕上げ工事作業 ・ 植栽工事 ※ ○ 造園工事作業 ・ その他 ※ ○ 樹根接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ○ 家具手加工作業
21 化学物質の室内濃度の測定	化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン ※ スチレン ※ パラジクロロベンゼン 測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定) 測定対象室 () なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。 ⑳ 直接仮設の養生 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。 ㉑ 建築材料等 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 ㉒ 特別な材料の工法 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 ㉓ 風圧力 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・ II ㉔ 仕上面の出隅処理 内外とも仕上出隅利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難しい場合は、監督職員と協議する。

株式会社ライズ設計事務所	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一級建築士事務所 高知県知事登録第719号	江陽小学校南舎トイレ改修工事	鈴木	菅岡	山田	松本	A / 01
一級建築士 大臣登録第189030号 植村佳史	図面名	改修特記仕様書(1)	2025.04	縮尺	1 /	作図 年 月 日

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] 備品の種類 机・椅子 書棚 黒板 PC 掛時計 数量 組 台 枚 台 個 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨がっぱ 保護帽 懐中電灯 数量 個 足 着 個 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消火器 湯沸器 加入電話付風扇 数量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃除具 数量 個	7 造作用集成材	・広葉樹製材 施工箇所 ※図示 樹種 寸法(mm) ※図示 等級 日本農林規格を使用する場合 : ・特等 ※1等 ・2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※特一等 ・一等 含水率 ※10%以下 保存処理 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない
28 完成時の提出図書	○完成図(作成範囲・配置図) ○平面図・立面図・断面図 ○仕上表 [1.9.1][1.9.2] ○完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等) ・しない) [1.9.3] ○保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・部) [1.9.3] 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ○施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)~c)に加え、 d) 工事用電力は、既存設備に量水器を付けて、仮設配管を施工使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を付けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※図示 ※ 原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	⑦ 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による [6.5.2] ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 施工箇所 品名 樹種 寸法(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 ※図示 ※1等 ・2等
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 位置 分類・規格 撮影枚数 部数 原画の大きさ(mm) ・各室 手札版(L版) ※2枚・枚 ※1部・部 100×125以上 ・外部 キヤビネ版 ※4枚・枚 ※1部・部 24×36以上 ・外部 半切バネル(木製枠※アルミ枠) ※1枚・枚 ※1部・部 ・ スライド ※1部・部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質:標準 画像サイズ:1024×768ピクセル程度	⑦ 仮囲い	※図示	⑧ 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 寸法(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 化粧薄板: ※図示 ※1等 ・2等 芯材: 化粧薄板: 芯材:
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	⑧ 仮設物撤去後の整地・残片付け	※図示	⑧ 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 ※図示 ※15%以下
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	防水改修工事	① シーリング シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドプレーカー張り ・適用する [3.7.7] エッジング材張り ・適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) 種類(記号) 主成分による区分 施工箇所 ○SR-1 シリコン系 図示 ・SR-2 ・MS-2 変成シリコン系 ・PS-2 ポリサルファイド系 ・PU-2 ポリウレタン系 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] 箇所 打継ぎ/ひび割れ誘発目地 ガラス回りの目地 左記以外の目地 幅(mm) ※20以上 ・ ※幅及び深さ5以上[5.13] ※10以上 深さ(mm) ※10以上 ・ ※3]による場合を除く) ※10以上 接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	⑧ 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板: ※図示 ※15%以下 芯材: 化粧薄板: 芯材:
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次に従う。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者は、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	内装改修工事	① 他の部位との取合い等 [6.1.3] 撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※図示 ・壁厚程度 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※図示 ・壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※図示 ・既存のまま 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする ② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ○ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) ・撤去範囲すべて) ・下地モルタル共(撤去範囲:※図示 ・撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗材の除去等 ・機械的除去法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共) ③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り([4.3.10]による) ④ ホルムアルデヒド放散量 ※6.5.2(9)のいずれかによる。 [6.5.2] ⑤ 目視検査 日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。 ⑥ 製材 [6.5.2] ・下地用針葉樹製材 施工箇所 ※図示 樹種 ・杉 ・桧 寸法(mm) ※図示 等級 日本農林規格を使用する場合 : ・1級 ※2級 日本農林規格以外を使用する場合 : ※特一等 ・一等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・行う ・行わない 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ○造作用針葉樹製材 施工箇所 ※図示 樹種 ・杉 ○桧 寸法(mm) ※図示 等級 日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※上小節 ・無節 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面以外※小節以上 見え掛り面: ※上小節 ・無節 ・特一等 見え掛り面以外※小節以上 ・特一等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ○行わない 難燃処理 ・行う ○行わない	⑧ 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 ・図示 ・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・行う ・無(等級:・1等・2等・3等) ・行わない ※14%以下
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	⑧ 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 ・図示 ・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・行う ・無(等級:・1等・2等・3等) ・行わない ※14%以下
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	⑧ 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 ・図示 ・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・行う ・無(等級:・1等・2等・3等) ・行わない ※14%以下
仮設工事(改修)	内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施設すること。 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○D種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。	① 足場その他	内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施設すること。 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○D種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。	⑧ 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 厚さ(mm) 化粧板に使用する単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ※1類 ・2類
② 養生	○ 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ○ 既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・ 固定された備品等の移動 ※図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	② 養生	○ 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ○ 既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・ 固定された備品等の移動 ※図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	⑧ 造作用集成材	○パーティクルボード 施工箇所 厚さ(mm) 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 乾式二重床 ○20.0 ○素地(○研磨板 ・無研磨板) ・ (・研磨板 ・無研磨板)
③ 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ○B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げ材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 ○仮設間仕切り面 仮設扉種別 ○合板張り木製扉程度 ・図示	③ 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ○B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げ材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 ○仮設間仕切り面 仮設扉種別 ○合板張り木製扉程度 ・図示	⑧ 造作用集成材	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 品名 厚さ(mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ※1類 ・2類
④ 監督職員事務所	・設ける() ※設けない	④ 監督職員事務所	・設ける() ※設けない	⑧ 造作用集成材	○パーティクルボード 施工箇所 厚さ(mm) 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 造作材の化粧面の釘打ち ○適用する (※隠し釘打ち) ・適用しない [6.5.3][表6.5.3~6.5.5] 諸金物の形状、寸法及び材質 6.5.3(2)(7)による 接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3]

株式会社ライズ設計事務所
一級建築士事務所 高知県知事登録第719号
一級建築士 大臣登録第189030号 植村佳史

工事名	係長	課長補佐	課長	図面番号
江陽小学校南舎トイレ改修工事	鈴木	菅岡	菅岡	A / 02
図面名	改修特記仕様書(2)	縮尺	1 /	作図年月日

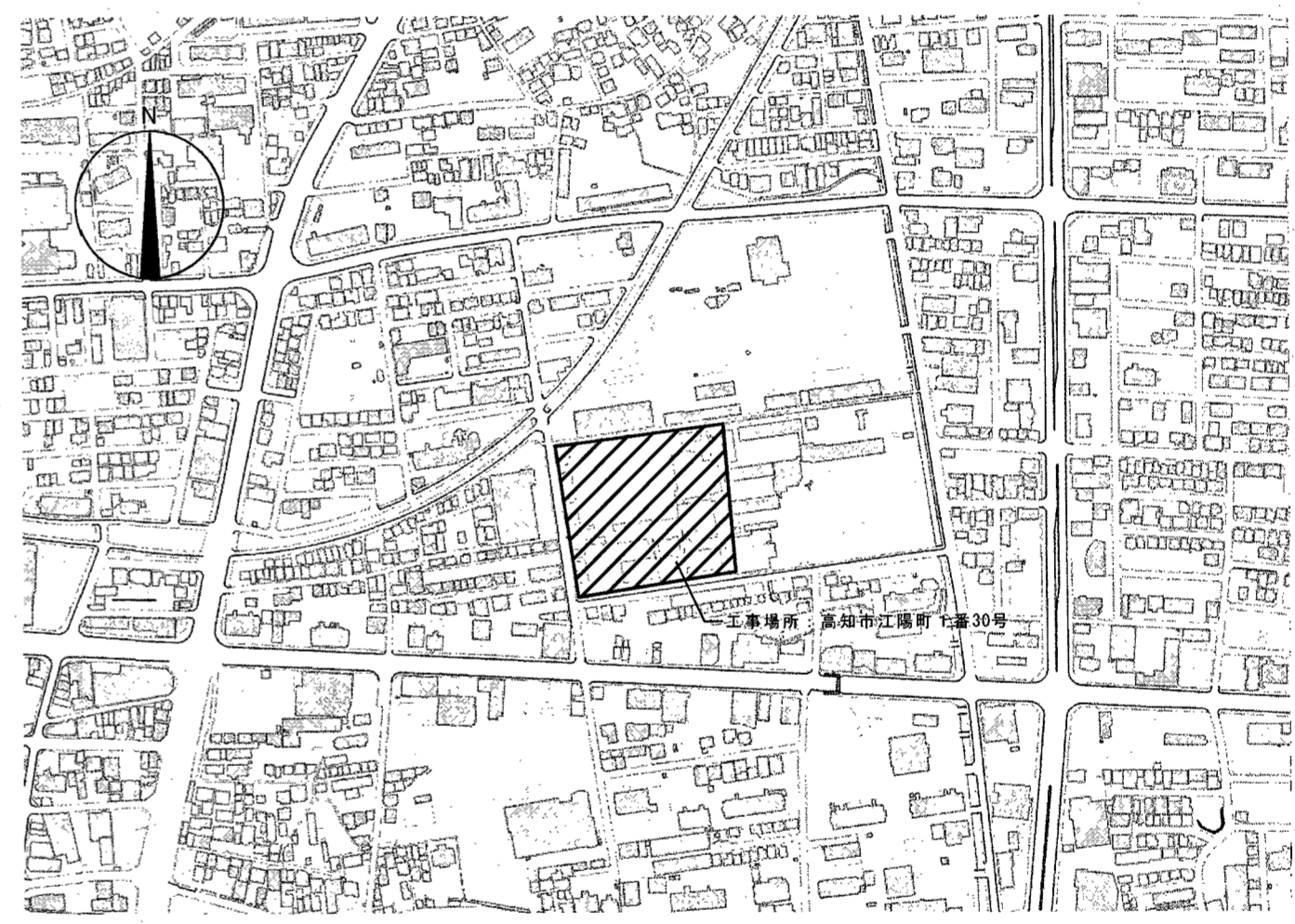
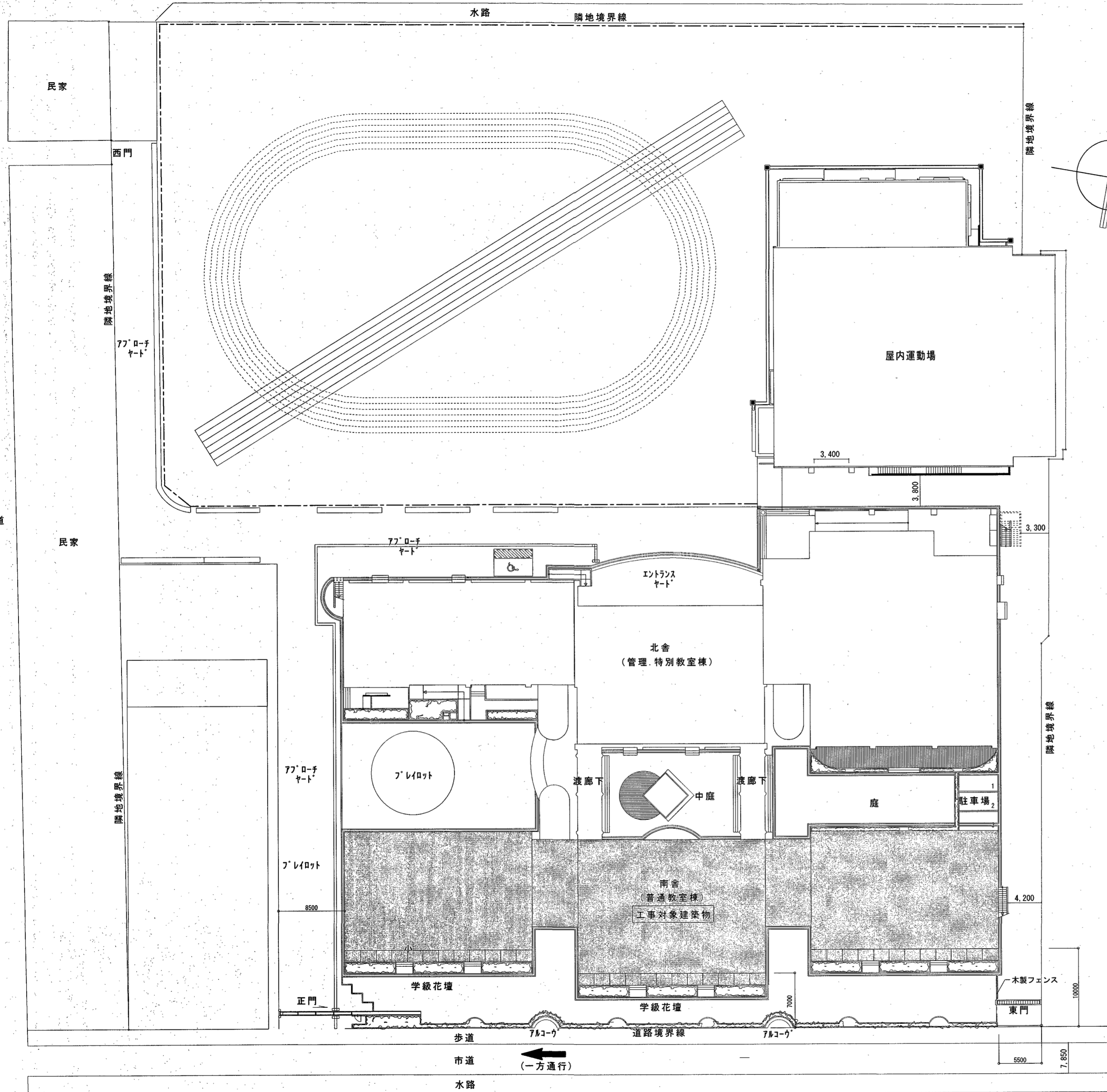
項目	特記事項
12 木れんが	取付工法 ※接着工法 ・あと施工アンカー (径: 長さ:) [6.5.4] 接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.4]
13 防蟻・防蟻処理	・薬剤の加圧注入による防蟻及び防蟻処理 [6.5.5] 適用部材 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 ・薬剤の塗布等による防蟻及び防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ・ ※ 薬剤製造所の仕様による ・ 薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位 () ・ 合板等の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ()
14 間仕切軸組に用いる木材	※ 図示 [6.5.6]
15 床組に用いる木材	※ 図示 [6.5.6]
16 窓, 出入口, その他に用いる木材	※ 図示 [6.5.7]
17 縁甲板及び上がりがまちに用いる木材	※ 図示 [6.5.8]
18 壁及び天井に用いる木材	※ 図示 [6.5.9]
19 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1] 屋内 (※ 19形 ・ 25形) 屋外 (・ 19形 ※ 25形) 野縁等の間隔 [6.6.3][表6.6.2] 野縁 野縁受 つりボルト及びインサート 周辺部の端からの距離 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー [6.6.4] ◎ 既存の埋込みインサートを使用する ◎ 新たにつりボルト用あと施工アンカーを設ける つりボルトの引張試験 試験箇所数及び確認強度は6.6.4(9)による 屋内 ※ 行う ・ 行わない 屋外 ※ 行う ・ 行わない ・ 耐風圧性を考慮した補強 適用箇所: ※ 図示 補強方法: ※ 図示 ・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強 適用箇所: ※ 図示 補強方法: ※ 図示 ◎ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 適用箇所: ※ すべて 図示 補強方法: ・ 国土交通省平成25年告示第771号の基準に適合するもの ※ 6.6.4(8)による。ただし、ふところ1.5m以下の場合も適用し、 固定方法は専用金具又はボルトとし、溶接は不可とする。 ・ 天井のふところが3mを超える場合の補強 適用箇所: ※ 図示 補強方法: ※ 図示
20 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナー等の種類 ※ 表6.7.1による ◎ 図示 [6.7.3][表6.7.1] スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 [6.7.3] 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 14.5.4(5)による 図示 [6.7.4]
21 (床仕上げ)ビニル床シート張り	[6.8.2~6.8.3] 種類の記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所 備考 ※ F S ※ 無地 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ・ 防汚性 図示 既製10m幅・20m長さ ・ ※ 柄入り ・ 防滑性 ・ 抗菌性 ※ F S ※ 無地 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ ・ 防滑性 ・ 耐薬品性 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所:) 帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は 体積電気抵抗値(JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 10^{10} \Omega$ 程度 下地 ※ 図示
22 ビニル床タイル張り	[6.8.2~6.8.3] 種類の記号 色柄 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所 ※ K T ・ 無地 ※ 300×300 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ・ 防滑性 ・ T T ・ F T ・ 柄物 ・ 2.0 ・ 帯電防止 ・ 防滑性 ・ F O A ・ F O B ・ 帯電防止 ・ 防滑性 帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は 体積電気抵抗値(JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 10^{10} \Omega$ 程度
23 誘導用床材及び警告用床材	[6.8.2] 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考 ・ レジンコンクリート系 ※ 300×300 ※ 30 ※ JIS T 9251適合品 ・ タイル系 ・ 60 ・ 塩化ビニル系 ※ 300×300 ※ 図示
24 ビニル幅木	[6.8.2] 材種 厚さ(mm) 高さ(mm) 施工箇所 ※ 軟質 ・ 硬質 ※ 1.5 ・ ※ 60 ・ 75 ・ 100
25 ゴム床タイル張り	[6.8.2] 色柄 種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 備考 ・ 単層 ・ 複層 ・ 3.0 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 9.0

項目	特記事項
26 カーペット敷き	・ 織じゅうたん [6.9.2][表6.9.1] 織り方 パイル形状 帯電性 品質(公表単価(円/m ²)) ・ ウェットカーペット ・ カットパイル ・ 帯電性 ・ グラスカーペット ・ ループパイル ・ 品質 ・ アニシスカーペット ・ カット・ループ併用 色柄、パイル系の種類 ※ 模様のない無地のもの 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種) ・ タフテッドカーペット [6.9.2] パイル形状 パイル長 工法 帯電性 品質(公表単価(円/m ²)) ・ カットパイル ・ ループパイル ※ 全面接着工法 ・ 帯電性 ・ レベルループパイル ・ グリッパー工法 ・ カット・ループ併用 ・ タイルカーペット [6.9.2] 種類 パイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質(公表単価(円/m ²)) ※ 第一種 ・ カットパイル ※ ループパイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カットパイル・ループ併用 ※ 7.0 タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し [6.9.3] 階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き ・ 下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)に基づく第2種2号、呼び厚さ 8.0mm [6.9.2] 取付け用付属品 [6.9.2] 見切り ※ (材質 種類 形状) ・ 図示 押え金物 ※ (材質 種類 形状) ・ 図示
27 合成樹脂塗床	[6.10.3][表6.10.4~表6.10.8] 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 厚膜型塗床材 ※ 図示 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ つや消し仕上げ ・ 厚膜型塗床材 ※ 図示 ・ 薄膜流しのペ工法 ・ 平滑仕上げ ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 厚膜流しのペ工法 ・ 防汚仕上げ ・ 薄膜型塗床材 ※ 図示 ※ 平滑仕上げ 塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 [6.10.2] ※ F☆☆☆☆
28 フローリング張り	単層フローリング [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.6][表6.11.1][表6.11.3][表6.11.5] 種類 工法 厚さ(mm) 樹種 備考 ・ フローリングボード1等 ・ 釘留め工法(根太張り) ※ 15 ・ 釘留め工法(直張り) ・ 12 ・ 接着工法 ・ 8 ・ フローリングブロック1等 ・ 接着工法 ※ 15 フローリングボードの幅、長さ ※ 表6.11.1、表6.11.3、表6.11.5による フローリングブロックの幅、長さ ・ 300×300 ・ 303×303 複合フローリング [表6.11.2][表6.11.4][表6.11.6] 工法 種別 厚さ(mm) 樹種 備考 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ A種 ※ 12 ・ 釘留め工法(直張り) ・ B種 ・ 15 ・ 接着工法 ※ C種 (ひき板の厚さ) ・ 3mm以上 ※ 表6.11.4 フローリングの幅、長さ ※ 表6.11.2、表6.11.4、表6.11.6による 接着工法の場合の不連続和材 ※ 合成樹脂発泡シート [6.11.5] 塗装 ・ 工場塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ [6.11.6][7.11.1] ・ 現場塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ A種 ※ B種 ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り (自然塗料) 複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 [6.11.2] ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの
29 畳敷き	・ 畳 種別 ※ D種 (畳床・KT-I・KT-II※KT-III・KT-K・KT-N) [6.12.2][表6.12.1] ・ 衝撃緩和型畳 畳表 ・ C1 ・ C2

項目	特記事項
30 (天井、壁仕上げ)せつこうボードその他のボード及び合板張り	材料 [6.13.2][表6.13.1] 種類 JISの記号 厚さ(mm) 規格等 ・ 硬質木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 普通木毛セメント板 NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 硬質木片セメント板 HF ・ 12 ・ 16 ・ 18 ・ 21 ・ 普通木片セメント板 NF ・ 30 ・ けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2(無石綿) ・ 6 ・ 8 (ノンアスベスト) 1.0FK ◎ 化粧けい酸カルシウム板 ◎ 6 ・ ロックウール化粧吸音板 ※ フラットタイプ(※9(準不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ(※12(不燃) ・ 15 ・) DR ・ ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※ 25 ・ グラスウール吸音ボード2号32K GW-B ※ 25(ガラスクロス包) ・ せつこうボード GB-R ※ 12.5(不燃) ・ 15(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 不燃積層せつこうボード GB-NC ※ 9.5(不燃) ・ 化粧無(下地張り用) ・ 化粧有(トラバーチン模様) ◎ シーリングせつこうボード GB-S ※ 12.5(不燃) ・ 15(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 強化せつこうボード GB-F ※ 12.5(不燃) ・ 15(不燃) ・ せつこうラスボード GB-L ・ 9.5 ・ 12.5 ◎ 化粧せつこうボード(トラバーチン模様) GB-D ◎ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 化粧せつこうボード(木目) GB-D ※ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 模様() ・ 普通合板 表板の樹種名 ※ 図示 板面の品質() 厚さ(mm) () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防炎処理 ・ コンクリート型枠用合板 厚さ(mm) () ・ 構造用合板 厚さ(mm) () ・ 天然木化粧合板 化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理 ・ 特殊加工化粧合板 表面性能 ・ F ・ FW ・ W ・ SW (・ メラミン化粧合板) (・ ポリエステル化粧合板) (・ プリント合板) (・ 防虫処理) ・ ミディアムデンシティファイバーボード MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 単板張りパーティクルボード ・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 化粧パーティクルボード ・ 単層オーバーレイ ・ 塗装 ・ プラスチックオーバーレイ ・ 10(難燃) ・ 12(難燃) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード ・ テンパード) ・ 研磨板(・スタンダード ・ テンパード) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード IB A級(・天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 せつこうボードの目地処理の種類 [6.13.3][表6.13.5] 目地工法の種類 せつこうボードのエッジの種類 継目処理工法 ・ テーパーエッジ ※ ベベルエッジ 突付け工法 ※ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ 目透し工法 ※ スクエアエッジ ・ ベベルエッジ 合板類の張付け ・ A種 ※ B種 [6.13.3][表6.13.3] MDF及びパーティクルボード並びに合板のホルムアルデヒド放散量 [6.13.2] ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの 遮音壁に用いるシール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド [6.13.2] 天井のボードの重ね張りの張り付け方法(ロックウール吸音板を除く) [6.13.3] () 壁紙張り [6.14.2] 壁紙 種類 程度 防火性能 施工箇所 ※ 塩化ビニル樹脂系 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.4] コンクリート面及びALCパネル面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.5] せつこうボード及びその他のボード面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.7] 壁紙のホルムアルデヒドの放散量等 ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの [6.14.2] 壁紙 [6.14.2] 壁紙 種類 程度 防火性能 施工箇所 ※ 塩化ビニル樹脂系 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.4] コンクリート面及びALCパネル面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.5] せつこうボード及びその他のボード面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.7] 壁紙のホルムアルデヒドの放散量等 ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの [6.14.2] 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木、フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 32 接着剤 [6.15.3] モルタル 現場調合材料 ・ 既調合材料 () [6.15.3] 既製目地材 ・ 適用する(形状: ※ 図示) () [6.15.5] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示 床の目地 ・ 適用する (目地割り ※ 2㎡程度 最大目地間隔3m程度) [6.15.6] (種類 ※ 押し目地) タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※ 行う ・ 行わない
31 壁紙張り	壁紙 [6.14.2] 種類 程度 防火性能 施工箇所 ※ 塩化ビニル樹脂系 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.4] コンクリート面及びALCパネル面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.5] せつこうボード及びその他のボード面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.7] 壁紙のホルムアルデヒドの放散量等 ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの [6.14.2] 壁紙 [6.14.2] 壁紙 種類 程度 防火性能 施工箇所 ※ 塩化ビニル樹脂系 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.4] コンクリート面及びALCパネル面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.5] せつこうボード及びその他のボード面 ・ A種 ※ B種 [6.14.3][表7.3.7] 壁紙のホルムアルデヒドの放散量等 ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの [6.14.2] 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木、フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
32 接着剤	[6.15.3] モルタル 現場調合材料 ・ 既調合材料 () [6.15.3] 既製目地材 ・ 適用する(形状: ※ 図示) () [6.15.5] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示 床の目地 ・ 適用する (目地割り ※ 2㎡程度 最大目地間隔3m程度) [6.15.6] (種類 ※ 押し目地) タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※ 行う ・ 行わない
33 モルタル塗り	[6.15.3] モルタル 現場調合材料 ・ 既調合材料 () [6.15.3] 既製目地材 ・ 適用する(形状: ※ 図示) () [6.15.5] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示 床の目地 ・ 適用する (目地割り ※ 2㎡程度 最大目地間隔3m程度) [6.15.6] (種類 ※ 押し目地) タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※ 行う ・ 行わない

項目	特記事項	塗装の種類	スリーブの材質、規格等																																																																																																																																																																																	
34 タイル張り	<p>伸縮調整目地の位置 ・ 図示 ※6.16.2(1)(7)による [6.16.2] タイルの見本焼き ※行わない [6.16.2] タイルの試験張り ※行わない [6.16.2]</p> <p>・セメントモルタルによるタイル張り [6.16.3]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率の区分</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質 (公表単価 (円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 ・ 壁タイル張りの工法 [表6.16.4] 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り [表6.16.4]</p> <p>○有機系接着剤によるタイル張り [6.16.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率の区分</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質 (公表単価 (円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.16.4] 壁タイル張りの工法 ※内装壁タイル接着剤張り [表6.16.6] 内装タイル</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質 (公表単価 (円/m ²))	I類	II類	III類	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質 (公表単価 (円/m ²))	I類	II類	III類	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	<p>[7.3.2、7.5.2~7.13.2][表7.5.1~表7.13.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>路号</th> <th>塗装</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ SOP</td> <td>合成樹脂調合ペイント塗り</td> <td>木部(屋外) ※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">塗料の種類 ※1種</td> <td>木部(屋内) ※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 ※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 ※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ CL</td> <td>クリヤラッカー塗り</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ NAD</td> <td rowspan="3">耐候性塗料塗り</td> <td>鉄鋼面</td> <td>表7.8.1</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>表7.8.1</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びFCEP面</td> <td>表7.8.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">・ DP</td> <td rowspan="10">つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>石膏面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ EP</td> <td rowspan="4">合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>石膏面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ UC</td> <td rowspan="2">ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ スティン</td> <td rowspan="3">ビグメントスティン塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>表7.12.1</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>表7.12.1</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>表7.12.1</td> </tr> <tr> <td>・ WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>CL A種の場合の塗料の種類 UC 着色 ・ 適用する OS 仕様 ・ 図示</p>	路号	塗装	塗替え	新規	・ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部(屋外) ※B種	※A種	塗料の種類 ※1種	木部(屋内) ※B種	※B種	鉄鋼面 ※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面 ※B種	※B種	鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)	※A種	※B種	・ CL	クリヤラッカー塗り	※B種	※A種	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	※A種	・ NAD	耐候性塗料塗り	鉄鋼面	表7.8.1	亜鉛めっき鋼面	表7.8.1	コンクリート面及びFCEP面	表7.8.2	・ DP	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	モルタル面	※B種	石膏面	※B種	せっこうボード面	※B種	その他ボード面	※B種	屋内木部	※B種	屋内鉄鋼面	※A種	屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	コンクリート面	※B種	モルタル面	※B種	・ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	モルタル面	※B種	石膏面	※B種	せっこうボード面	※B種	・ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	コンクリート面	※B種	モルタル面	※B種	・ スティン	ビグメントスティン塗り	コンクリート面	表7.12.1	モルタル面	表7.12.1	その他ボード面	表7.12.1	・ WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種	<p>※下記の通り ・ 図示 (6.8.2)(表6.8.1) (i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。 (ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。 (iii) (i)及び(ii)以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。 (iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。 なお、柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。</p> <p>評価名簿による (6.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>(6.10.1)(6.10.2)(表6.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>所要気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td>※表6.10.1による</td> <td>※21</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.14.1) 設計基準強度 Fc(N/mm²) スランブ(cm) 適用箇所 ※18 ※15 ・ 18 ※6.14.1(4)による ・ 図示</p>	使用箇所	厚さ	備考	・	・	・	種類	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランブ	適用箇所	・ 1種 ・ 2種	※表6.10.1による	※21	※図示																																		
施工箇所	形状寸法(mm)			吸水率の区分								色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質 (公表単価 (円/m ²))																																																																																																																																																																				
		I類	II類	III類																																																																																																																																																																																
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																											
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質 (公表単価 (円/m ²))																																																																																																																																																																											
		I類	II類	III類																																																																																																																																																																																
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																											
路号	塗装	塗替え	新規																																																																																																																																																																																	
・ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部(屋外) ※B種	※A種																																																																																																																																																																																	
	塗料の種類 ※1種	木部(屋内) ※B種	※B種																																																																																																																																																																																	
		鉄鋼面 ※B種	※B種																																																																																																																																																																																	
		亜鉛めっき鋼面 ※B種	※B種																																																																																																																																																																																	
	鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)	※A種	※B種																																																																																																																																																																																	
・ CL	クリヤラッカー塗り	※B種	※A種																																																																																																																																																																																	
	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	※A種																																																																																																																																																																																	
・ NAD	耐候性塗料塗り	鉄鋼面	表7.8.1																																																																																																																																																																																	
		亜鉛めっき鋼面	表7.8.1																																																																																																																																																																																	
		コンクリート面及びFCEP面	表7.8.2																																																																																																																																																																																	
・ DP	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種																																																																																																																																																																																	
		モルタル面	※B種																																																																																																																																																																																	
		石膏面	※B種																																																																																																																																																																																	
		せっこうボード面	※B種																																																																																																																																																																																	
		その他ボード面	※B種																																																																																																																																																																																	
		屋内木部	※B種																																																																																																																																																																																	
		屋内鉄鋼面	※A種																																																																																																																																																																																	
		屋内亜鉛めっき鋼面	※A種																																																																																																																																																																																	
		コンクリート面	※B種																																																																																																																																																																																	
		モルタル面	※B種																																																																																																																																																																																	
・ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種																																																																																																																																																																																	
		モルタル面	※B種																																																																																																																																																																																	
		石膏面	※B種																																																																																																																																																																																	
		せっこうボード面	※B種																																																																																																																																																																																	
・ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	コンクリート面	※B種																																																																																																																																																																																	
		モルタル面	※B種																																																																																																																																																																																	
・ スティン	ビグメントスティン塗り	コンクリート面	表7.12.1																																																																																																																																																																																	
		モルタル面	表7.12.1																																																																																																																																																																																	
		その他ボード面	表7.12.1																																																																																																																																																																																	
・ WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種																																																																																																																																																																																	
使用箇所	厚さ	備考																																																																																																																																																																																		
・	・	・																																																																																																																																																																																		
種類	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランブ	適用箇所																																																																																																																																																																																	
・ 1種 ・ 2種	※表6.10.1による	※21	※図示																																																																																																																																																																																	
35 セルフレベリング材塗り	<p>[6.17.2][6.17.3][表6.17.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>種類</th> <th>標準塗厚(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ せっこう系 ・ セメント系 ※10</p>	種	種類	標準塗厚(mm)	施工箇所	・	・	・	・	<p>コンクリート工事</p> <p>① コンクリートの種類・強度・スランブ (6.2.1~6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※21</td> <td>○15 ・ 18</td> <td>全ての箇所</td> </tr> <tr> <td>・ 18</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※21</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 18</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>コンクリートの種類 ※I類 ・ II類 (6.2.1)(表6.2.1)</p>	設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所	※21	○15 ・ 18	全ての箇所	・ 18	・ 15 ・ 18	・	設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所	※21	・ 15 ・ 18	・	・ 18	・ 15 ・ 18	・	<p>① あと施工アンカー (天井下地用を除く) 施工後の確認 (引張試験) ・ 行う ○行わない 確認強度 () (14.1.3)</p> <p>ユニット及びその他工事</p> <p>1 フリーアクセスフロア</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>表面仕上げ材の材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>所定荷重(N)</th> <th>耐震性能</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>寸法精度 20.2.2(4)による 製造所 評価名簿による (20.2.2)</p> <p>JIS A 6512による他は次による (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th colspan="2">構成基材 (JIS記号)</th> <th colspan="2">表面仕上材</th> <th rowspan="2">不燃認定</th> <th rowspan="2">遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>スタッド</th> <th>パネル</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>パネル表面仕上</th> </tr> <tr> <td>・ パネル式</td> <td>・ AL</td> <td>・ w</td> <td>・ 0.6</td> <td>※フッ素樹脂塗料</td> <td>・</td> <td>・ 15程度</td> </tr> <tr> <td>・ スタッド式(内蔵)</td> <td>・ ST</td> <td>・ st</td> <td>・ 0.8</td> <td>又はアクリル樹脂塗料焼き付け</td> <td>・</td> <td>・ 30程度</td> </tr> <tr> <td>・ スタッド式(露出)</td> <td>・ E</td> <td>・ g</td> <td>・ pa</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 36以上</td> </tr> <tr> <td>・ スタッドパネル式</td> <td>・ al</td> <td>・ e</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>割付及びパネル内の建具 ※図示 製造所 評価名簿による (20.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">走行方向による区分</th> <th rowspan="2">操作方向による区分</th> <th colspan="2">パネル圧接装置の操作方法</th> <th colspan="2">パネル表面材</th> <th rowspan="2">遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>パネル厚(mm)</th> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>仕上</th> </tr> <tr> <td>・ 平行方向移動式</td> <td>※手動式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※鋼板</td> <td>※フッ素樹脂塗料</td> <td>・ 一般タイプ (36dB未満)</td> </tr> <tr> <td>・ 二方向移動式</td> <td>・ 電動式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>又はアクリル樹脂塗料焼き付け</td> <td>・ 遮音タイプ (36dB以上)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 部分電動式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 壁紙張り</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ハンガーレール取付下地の補強 ※20.2.4(3)(9)による パネルをランナーに取り付ける部品 ※20.2.4(3)(5)による ハンガーレール ※20.2.4(4)による ランナー ※20.2.4(3)(8)による ハンガーレール固定用あと施工アンカー 材質 () 寸法 () 製造所 評価名簿による (20.2.5)</p> <p>④ トイレブース</p> <table border="1"> <tr> <th>パネル表面材</th> <th>脚部の種類</th> <th>ドアエッジ</th> <th>製造所</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板</td> <td>・幅木タイプ</td> <td>・アルミニウム製</td> <td>・ステンレス製</td> </tr> </table> <p>⑤ 手すり</p> <p>材料の種類、仕上げ ・ ステンレス、#400 (20.2.6)</p> <p>⑥ 階段滑り止め</p> <p>材質 ※ステンレス製(SUS304)タイヤ入り 幅(mm) ※約35 工法 ※接着工法 ・ 埋込み工法 (20.2.7)</p> <p>⑦ 黒板及びホワイトボード</p> <p>・ 黒板 区分 ※焼付け 種類 ・ 鋼製 ・ ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 (20.2.9) ・ ホワイトボード 種類 ※ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 ※上げ下げ式 ・ 固定式</p> <p>⑧ 鏡</p> <p>厚さ(mm) ※5.0 (20.2.10) ※耐食仕様</p> <p>⑨ 表示</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">室名札等 (20.2.11)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>材質・厚さ(mm)</th> <th>印刷等の種別</th> <th>色彩</th> <th>取付形式</th> <th>書体</th> </tr> <tr> <td>・ 室名札</td> <td>※図示</td> <td>※シルクスクリーン印刷</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>○ピクトグラフ</td> <td>※図示</td> <td>※シルクスクリーン印刷</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・ とびら番号</td> <td>・ アクリル板 (※5.0)</td> <td>○図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 非常用出入口</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 建物案内板</td> <td>※アクリル板 (※8.0)</td> <td>※シルクスクリーン印刷</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・ 各階案内板</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 対人衝突防止表示</td> <td>※図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>⑩ タラップ</p> <p>材料の種類 ・ ステンレス 仕上げ (20.2.12)</p> <p>⑪ 煙突ライニング</p> <p>煙突用成形ライニング材 製造所 評価名簿による 適用安全使用温度 (上限温度) ・ 400℃ ・ 600℃ ・ 図示 (20.2.13) (下限温度) ・ 図示 工法 ・</p>	施工箇所	工法	表面仕上げ材の材質	寸法(mm)	高さ(mm)	所定荷重(N)	耐震性能	・	・	・	・	・	・	・	構造形式	構成基材 (JIS記号)		表面仕上材		不燃認定	遮音性 (dB/500Hz)	スタッド	パネル	厚さ(mm)	パネル表面仕上	・ パネル式	・ AL	・ w	・ 0.6	※フッ素樹脂塗料	・	・ 15程度	・ スタッド式(内蔵)	・ ST	・ st	・ 0.8	又はアクリル樹脂塗料焼き付け	・	・ 30程度	・ スタッド式(露出)	・ E	・ g	・ pa	・	・	・ 36以上	・ スタッドパネル式	・ al	・ e	・	・	・	・	走行方向による区分	操作方向による区分	パネル圧接装置の操作方法		パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)	パネル厚(mm)	材質	仕上げ	仕上	・ 平行方向移動式	※手動式	・	・	※鋼板	※フッ素樹脂塗料	・ 一般タイプ (36dB未満)	・ 二方向移動式	・ 電動式	・	・	・	又はアクリル樹脂塗料焼き付け	・ 遮音タイプ (36dB以上)	・	・ 部分電動式	・	・	・	・ 壁紙張り	・	パネル表面材	脚部の種類	ドアエッジ	製造所	※図示	※図示	※図示	※図示	・メラミン樹脂系化粧板	・幅木タイプ	・アルミニウム製	・ステンレス製	室名札等 (20.2.11)						区分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色彩	取付形式	書体	・ 室名札	※図示	※シルクスクリーン印刷	※図示	※図示	※図示	○ピクトグラフ	※図示	※シルクスクリーン印刷	※図示	※図示	※図示	・ とびら番号	・ アクリル板 (※5.0)	○図示	・	・	・	・ 非常用出入口	・	・	・	・	・	・ 建物案内板	※アクリル板 (※8.0)	※シルクスクリーン印刷	※図示	※図示	※図示	・ 各階案内板	・	・	・	・	・	・ 対人衝突防止表示	※図示	・	・	・	・
種	種類	標準塗厚(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																	
・	・	・	・																																																																																																																																																																																	
設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																		
※21	○15 ・ 18	全ての箇所																																																																																																																																																																																		
・ 18	・ 15 ・ 18	・																																																																																																																																																																																		
設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																		
※21	・ 15 ・ 18	・																																																																																																																																																																																		
・ 18	・ 15 ・ 18	・																																																																																																																																																																																		
施工箇所	工法	表面仕上げ材の材質	寸法(mm)	高さ(mm)	所定荷重(N)	耐震性能																																																																																																																																																																														
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																														
構造形式	構成基材 (JIS記号)		表面仕上材		不燃認定	遮音性 (dB/500Hz)																																																																																																																																																																														
	スタッド	パネル	厚さ(mm)	パネル表面仕上																																																																																																																																																																																
・ パネル式	・ AL	・ w	・ 0.6	※フッ素樹脂塗料	・	・ 15程度																																																																																																																																																																														
・ スタッド式(内蔵)	・ ST	・ st	・ 0.8	又はアクリル樹脂塗料焼き付け	・	・ 30程度																																																																																																																																																																														
・ スタッド式(露出)	・ E	・ g	・ pa	・	・	・ 36以上																																																																																																																																																																														
・ スタッドパネル式	・ al	・ e	・	・	・	・																																																																																																																																																																														
走行方向による区分	操作方向による区分	パネル圧接装置の操作方法		パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)																																																																																																																																																																														
		パネル厚(mm)	材質	仕上げ	仕上																																																																																																																																																																															
・ 平行方向移動式	※手動式	・	・	※鋼板	※フッ素樹脂塗料	・ 一般タイプ (36dB未満)																																																																																																																																																																														
・ 二方向移動式	・ 電動式	・	・	・	又はアクリル樹脂塗料焼き付け	・ 遮音タイプ (36dB以上)																																																																																																																																																																														
・	・ 部分電動式	・	・	・	・ 壁紙張り	・																																																																																																																																																																														
パネル表面材	脚部の種類	ドアエッジ	製造所																																																																																																																																																																																	
※図示	※図示	※図示	※図示																																																																																																																																																																																	
・メラミン樹脂系化粧板	・幅木タイプ	・アルミニウム製	・ステンレス製																																																																																																																																																																																	
室名札等 (20.2.11)																																																																																																																																																																																				
区分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色彩	取付形式	書体																																																																																																																																																																															
・ 室名札	※図示	※シルクスクリーン印刷	※図示	※図示	※図示																																																																																																																																																																															
○ピクトグラフ	※図示	※シルクスクリーン印刷	※図示	※図示	※図示																																																																																																																																																																															
・ とびら番号	・ アクリル板 (※5.0)	○図示	・	・	・																																																																																																																																																																															
・ 非常用出入口	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																															
・ 建物案内板	※アクリル板 (※8.0)	※シルクスクリーン印刷	※図示	※図示	※図示																																																																																																																																																																															
・ 各階案内板	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																															
・ 対人衝突防止表示	※図示	・	・	・	・																																																																																																																																																																															
36 吸音材	<p>○ グラスウール t=50充填 密度24kg/m³</p>	<p>② セメントの種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1)(6.13.2) ・ 高炉セメントB種 (適用箇所:) ・ フライアッシュセメントB種(適用箇所:)</p> <p>③ 骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B (6.3.1)</p> <p>④ 混和材料</p> <p>○混和剤 ※A E剤又はA E減水剤標準形 (JIS A 6204) (6.3.1) ・ 高性能A E減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ 混和材 ・ フライアッシュ (・ I種 ・ II種 ・ IV種) (JIS A 6201) ・ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ・ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) ・ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)</p> <p>⑤ 構造体強度補正值 (S)</p> <p>※表6.3.2による ○なし (6.3.2)</p> <p>⑥ 打継ぎ目地の寸法</p> <p>打継ぎ目地の寸法 ※9.7.3(1)(7)による (6.6.4)(9.7.3) ひび割れ誘発目地の位置 ※図示 (6.8.1) ひび割れ誘発目地の形状及び寸法 ※9.7.3(1)(7)による (6.8.1)(9.7.3)</p> <p>⑦ 打増し厚さ</p> <p>外部に面するコンクリートの打増し厚さ(mm) 外壁 ※図示 ・ 20 ・ 25 ・ 軒天 ※図示 ・ 10 ・ 15 ・ 20 その他 ※図示 ・ 20 (6.8.1)</p> <p>⑧ 構造体コンクリートの仕上り</p> <p>コンクリートの打放し仕上げ ※合板せき板を用いる場合 (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>※12</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※12</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※12</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ せき板の材料として合板を用いない場合 材料 () 厚さ ()</p> <p>⑨ コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <p>適用部位 ※下表 ・ 図示 (6.2.5)(表6.2.5)(15.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">コンクリートの内外仕上げ</th> <th rowspan="2">平たんさ</th> <th colspan="2">適用部位による仕上げの目安</th> </tr> <tr> <th>柱・梁・壁</th> <th>床</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合</td> <td>3mにつき7mm以下</td> <td>化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り</td> <td>合成樹脂塗料 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリーアクセスフロア (置敷式)</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合</td> <td>3mにつき10mm以下</td> <td>仕上げ塗り 外装タイル・モルタル張り</td> <td>カーペット張り 防水下地 セルフレベリング材塗り</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合</td> <td>1mにつき10mm以下</td> <td>モルタル塗り 網練下地</td> <td>タイル張り モルタル塗り 二重床</td> </tr> </table>	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ A種	※12	・	・ B種	※12	・	・ C種	※12	・	種別	コンクリートの内外仕上げ	平たんさ	適用部位による仕上げの目安		柱・梁・壁	床	a種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗料 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリーアクセスフロア (置敷式)	b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上げ塗り 外装タイル・モルタル張り	カーペット張り 防水下地 セルフレベリング材塗り	c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	モルタル塗り 網練下地	タイル張り モルタル塗り 二重床																																																																																																																																																
種別	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																		
・ A種	※12	・																																																																																																																																																																																		
・ B種	※12	・																																																																																																																																																																																		
・ C種	※12	・																																																																																																																																																																																		
種別	コンクリートの内外仕上げ	平たんさ	適用部位による仕上げの目安																																																																																																																																																																																	
			柱・梁・壁	床																																																																																																																																																																																
a種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗料 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリーアクセスフロア (置敷式)																																																																																																																																																																																
b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上げ塗り 外装タイル・モルタル張り	カーペット張り 防水下地 セルフレベリング材塗り																																																																																																																																																																																
c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	モルタル塗り 網練下地	タイル張り モルタル塗り 二重床																																																																																																																																																																																
塗装改修工事	<p>① 一般事項</p> <p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする [7.1.3] 防火材料 ・ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 [7.1.3] ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p> <p>② 下地調整</p> <p>塗替えR B種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す [7.2.1] [7.2.2~7.2.7][表7.2.1~表7.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th>ひび割れの補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>○R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル面、石膏面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外) ・ ALCパネル面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP) ・ 押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面(継目処理工法)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面(継目処理以外) ・ その他ボード面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>③ 素地ごしらえ [7.3.2~7.3.7][表7.3.1~表7.3.7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th colspan="2">種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り</td> <td>※A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>・ A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td>・ A種</td> <td>※B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及び石膏面</td> <td>・ A種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート ・ ALCパネル面(DP以外)</td> <td>・ A種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面(継目処理工法)</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面(継目処理以外) ・ その他ボード面</td> <td>・ A種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>④ 錆止め塗料の種類別 [7.3.3、7.4.2~7.4.3][表7.3.3、表7.4.1~表7.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td rowspan="2">SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※A種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>塗替え</td> <td>1回目 C種 2、3回目 D種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※E種</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(EP-G)</td> <td>塗替え</td> <td>1回目 C種 2、3回目 D種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td> <td rowspan="2">SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>※A種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>塗替え</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具以外</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋内(EP-G)</td> <td rowspan="2">SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※B種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>塗替え</td> <td>※C種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具以外</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> </table>	下地面の種類		下地調整の種類		ひび割れの補修	木部	不透明塗料塗り	※R B種	・	・		透明塗料塗り	○R B種	・	・	鉄鋼面	※R B種	・	・	・	亜鉛めっき鋼面	※R B種	・	・	・	モルタル面、石膏面	※R B種	・	・	・	コンクリート面(DP以外) ・ ALCパネル面	※R B種	・	・	・	コンクリート面(DP) ・ 押出成形セメント板面	・	・	・	・	せっこうボード面(継目処理工法)	・	・	・	・	せっこうボード面(継目処理以外) ・ その他ボード面	※R B種	・	・	・	下地面等		種類		木部	不透明塗料塗り	※A種	・ B種		透明塗料塗り	・ A種	※B種	鉄鋼面(DP以外)	・ A種	・ B種	※C種	鉄鋼面(DP)	・ A種	※B種	・ C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種	・ C種	モルタル面及び石膏面	・ A種	※B種	・	コンクリート ・ ALCパネル面(DP以外)	・ A種	※B種	・	コンクリート面(DP)	・ A種	・ B種	・	押出成形セメント板面	・ A種	・ B種	・	せっこうボード面(継目処理工法)	・ A種	・ B種	・	せっこうボード面(継目処理以外) ・ その他ボード面	・ A種	※B種	・	塗装面		塗料		工程	鉄鋼面	SOP	塗替え	※A種	※C種	新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※A種	※A種 ・ B種	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※E種	・ B種 ・ C種	屋内(EP-G)	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※B種	※A種	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	※A種	※C種	鋼製建具	※A種	※A種 ・ B種	DP	塗替え	※B種	※B種	鋼製建具以外	※B種	※B種 ・ A種	屋内(EP-G)	SOP	塗替え	※B種	※C種	鋼製建具	※B種	※A種	DP	塗替え	※C種	※C種	鋼製建具以外	※C種	※A種 ・ B種	<p>株式会社ライズ設計事務所 一級建築士事務所 高知県知事登録第719号 一級建築士 大臣登録第189030号 植村佳史</p>	<p>工事名 江陽小学校南舎トイレ改修工事</p> <p>係長 鈴木 係長 菅岡 係長 山本 係長 鈴木</p> <p>図面名 改修特記仕様書(4) 縮尺 1/</p> <p>作図年 月 日</p> <p>図面番号 A / 04</p>																						
下地面の種類		下地調整の種類		ひび割れの補修																																																																																																																																																																																
木部	不透明塗料塗り	※R B種	・	・																																																																																																																																																																																
	透明塗料塗り	○R B種	・	・																																																																																																																																																																																
鉄鋼面	※R B種	・	・	・																																																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面	※R B種	・	・	・																																																																																																																																																																																
モルタル面、石膏面	※R B種	・	・	・																																																																																																																																																																																
コンクリート面(DP以外) ・ ALCパネル面	※R B種	・	・	・																																																																																																																																																																																
コンクリート面(DP) ・ 押出成形セメント板面	・	・	・	・																																																																																																																																																																																
せっこうボード面(継目処理工法)	・	・	・	・																																																																																																																																																																																
せっこうボード面(継目処理以外) ・ その他ボード面	※R B種	・	・	・																																																																																																																																																																																
下地面等		種類																																																																																																																																																																																		
木部	不透明塗料塗り	※A種	・ B種																																																																																																																																																																																	
	透明塗料塗り	・ A種	※B種																																																																																																																																																																																	
鉄鋼面(DP以外)	・ A種	・ B種	※C種																																																																																																																																																																																	
鉄鋼面(DP)	・ A種	※B種	・ C種																																																																																																																																																																																	
亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種	・ C種																																																																																																																																																																																	
モルタル面及び石膏面	・ A種	※B種	・																																																																																																																																																																																	
コンクリート ・ ALCパネル面(DP以外)	・ A種	※B種	・																																																																																																																																																																																	
コンクリート面(DP)	・ A種	・ B種	・																																																																																																																																																																																	
押出成形セメント板面	・ A種	・ B種	・																																																																																																																																																																																	
せっこうボード面(継目処理工法)	・ A種	・ B種	・																																																																																																																																																																																	
せっこうボード面(継目処理以外) ・ その他ボード面	・ A種	※B種	・																																																																																																																																																																																	
塗装面		塗料		工程																																																																																																																																																																																
鉄鋼面	SOP	塗替え	※A種	※C種																																																																																																																																																																																
		新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※A種	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																
	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種																																																																																																																																																																																
		新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※E種	・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																
屋内(EP-G)	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種																																																																																																																																																																																	
	新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※B種	※A種																																																																																																																																																																																	
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	※A種	※C種																																																																																																																																																																																
		鋼製建具	※A種	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																
	DP	塗替え	※B種	※B種																																																																																																																																																																																
		鋼製建具以外	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																
屋内(EP-G)	SOP	塗替え	※B種	※C種																																																																																																																																																																																
		鋼製建具	※B種	※A種																																																																																																																																																																																
	DP	塗替え	※C種	※C種																																																																																																																																																																																
		鋼製建具以外	※C種	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
12	ブラインド (20.2.14) 形式 ※横形ブラインド ・縦形ブラインド スラットの材種 ※アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット 開閉方式 ※ギヤ式 ・コード式 ・電動式 ※1本操作コード方式 ・電動式 スラットの成形幅(mm) ※25 ・80 ・100 ※2本操作コード方式 ヘッドボックスの材種 ※鋼製 ・アルミニウム製 ボトムレールの材種 ※鋼製 ・アルミニウム製	解体工事 ① 解体範囲 ② 解体作業注意事項	※ 図示(土中解体で図面に記載がない場合は、基礎捨コンクリートまでとする。) ・その他() a) 解体機器は圧砕機を主体とし、騒音及び振動等の発生防止に努める。 b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。 c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。 d) 解体作業中は散水等を行い、粉塵等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。 e) 工事作業者の通勤用車両での乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。 f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。 g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ばぬよう、騒音及び振動、工事関係車両の通行等に注意すること。 h) PCBが含まれる機器類が発見された場合は、監督職員に報告すること。また、そのPCBを含む機器類については、高知市が指示する場所に保管すること。 i) 以上の項目は受注者はもとより下請業者にも、周知徹底させること。		
13	ロールスクリーン (20.2.15) 操作方式 スクリーンの材種 品質 備考 ・スプリング式 ・ガラス繊維製 ・布製 円/m2程度 ・チェーン式 ・木製 巻取りパイプその他の材料 ※製造所の仕様による	3 作業時間等 4 騒音測定等	資材、機材の搬入は朝夕の交通ラッシュ時には行わないこと。 解体作業中はデジタル式の(・騒音計 ・振動計)を設置し、記録すること。また、記録したものを報告書として提出すること。なお、関連法令で定める数値を上回った場合は、作業を中止し、監督職員に速やかに報告すること。 測定点 ※敷地境界()か所：詳細な位置は監督職員と協議による ・図示 ・その他()		
14	カーテン (20.2.16)(表20.2.1) 形式 開閉操作方式 ひだの種類 生地品質等 ・シングル ・片引き ・手引き ・プレーンひだ ・片ひだ ・厚地 ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ ・つまみひだ ・薄地 ・電動 ・フランチスひだ ・シャーリング 暗幕用カーテンの上部及び召合せの重なり ※300mm以上	5 その他	・電灯等は、別途設備工事で撤去することとする。 ・工事現場着手は電気及び機械設備工事の切り替え後とする。		
15	カーテンレール (20.2.16) レール及び付属金物 強さの区分 材 料 仕 上 げ 形 状 付属金物 ・10-60 ※アルミニウム製 ※アルマイト ※角形 ※10-90 ・ステンレス製				
16	天井見切縁 材種 ・アルミニウム製 ※塩ビ				
17	コーナービート 材種 ※ステンレス ・アルミニウム合金				
18	点検口 (20.2.16) 形式 材 種 寸 法 形 式 鍵 天井 ※アルミニウム製 ※450×450 一般 ○額縁タイプ ○内枠 ※なし ・600×600 形 ・目地タイプ ○目地タイプ ・あり 床 ・アルミニウム製 ・450×450 ・密閉形 ○密閉形 ※なし ※ステンレス製 ※600×600 ・一般形 ・結露防止形 ※あり ・屋内外用 ○屋内用 製造所 評価名簿による				
19	ステンレス流し台 ※ 図示(公表価格 円程度) ・優良住宅部品				
20	コンロ台 ※ 図示(公表価格 円程度) ・優良住宅部品				
21	吊戸棚 ※ 図示(公表価格 円程度) ・優良住宅部品				
22	水切り棚 ※ 図示(公表価格 円程度) ・優良住宅部品				
23	くつふきマット 材種 ・ステンレス鋼(SUS304) (受わく ステンレス鋼(SUS304)) ・硬質アルミニウム合金 (受わく 硬質アルミニウム合金)				
24	収納家具等の材料 合板類、MDF及びパーティクルボード、収納家具等製作の伴い使用する接着剤のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの				
25	フェンス フェンスの種類 ・樹脂塗装メッシュフェンス ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装目かくしフェンス ・格子フェンス ・亜鉛メッキネットフェンス ・アルミフェンス 高さ ※ 図示 メッシュ間隔 ・40mm程度 ・50mm程度				
26	車止め支柱 形 式 材 質 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm) ※上下式鎖内蔵式 ※ステンレス製 ※φ76.3 t=2.0 ※GL+850 (※標準品 ・スプリング付)				
27	耐震スリット 方 向 タイプ 耐火性能 防水性能 備 考 ・垂直方向 ・完全(全貫通型) ・耐火型 ・有り ・水平方向 ・非耐火型 ・無し 目地(目地材の材質は表9.7.1による) 目地材 シーリング材(見え掛り部のみ) シーリング材(見え掛り部のみ) 目地寸法(mm) ・幅20×深さ10 ・幅20×深さ10				
28	エキスパンション ジョイント金物 材質 ・アルミニウム ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・有り() ・無し 外部は防水型とする				
29	面台 メラミンポストフォーム t=20				
30	乾式二重床 学校向け二重床システム クッションゴム付き支柱脚 隙根太及びその他詳細は製造所の仕様による。				



付近見取図

配置図 S=1/400

(A3版は) A2 → A3縮小

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
鈴木	菅岡	山崎	松本

株式会社 RISE設計事務所
 管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

江陽小学校南舎トイレ改修工事			
PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

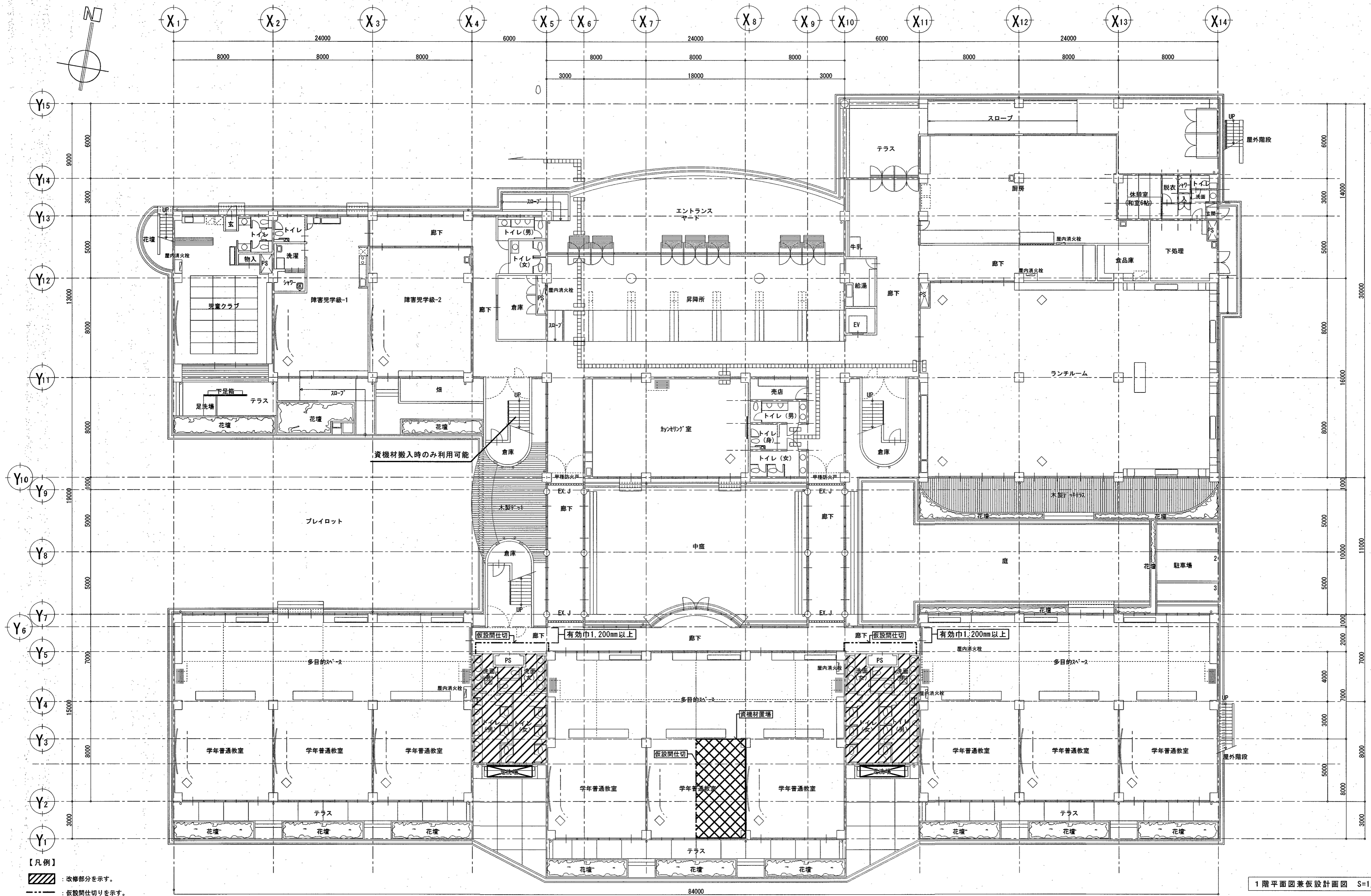
配置図・付近見取図

SCALE
1:400 06
A

内部仕上表

階	室名	床	巾木	腰壁(面台部)	壁	天井	廻縁	備考	
1	女子トイレ	改修前	モルタル下地磁器質タイル張り t=30【既存のまま】		CB積み t=100 の上、100角カラータイル【撤去】	100角カラータイル【既存のまま】 RC壁、100角カラータイル【撤去】	けい酸カルシウム板 t=6 目込 防カビ塗装【撤去】 (LGS下地共)	塩ビ製【撤去】	天井点検口 (450x450)【撤去】
		改修後	乾式二重床パーティクルボード t=20 + 構造用合板 t=12下地の上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0【新設】	床仕上げ巻上げ H=75【新設】	耐水合板 t=12+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 (LGS下地共)	ポリマーセメントペースト塗り+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 GB-S t=12.5 + 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0【新設】(LGS下地共) + 一部グラスウール t=50 充填24kg/m3	GB-D t=9.5 直張り【新設】(LGS下地共)	塩ビ製【新設】	天井点検口 (450x450)【新設】
	男子トイレ	改修前	モルタル下地磁器質タイル張り t=30【既存のまま】		CB積み t=100 の上、100角カラータイル【撤去】	100角カラータイル【既存のまま】 RC壁、100角カラータイル【撤去】	けい酸カルシウム板 t=6 目込 防カビ塗装【撤去】 (LGS下地共)	塩ビ製【撤去】	天井点検口 (450x450)【撤去】 床点検口 (600x600)【撤去】
		改修後	乾式二重床パーティクルボード t=20 + 構造用合板 t=12下地の上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0【新設】一部汚垂石タイル張り【新設】	床仕上げ巻上げ H=75【新設】	耐水合板 t=12+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 (LGS下地共)	ポリマーセメントペースト塗り+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 GB-S t=12.5 + 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0【新設】(LGS下地共) + 一部グラスウール t=50 充填24kg/m3	GB-D t=9.5 直張り【新設】(LGS下地共)	塩ビ製【新設】	天井点検口 (450x450)【新設】 床点検口 (600x600)【新設】
	洗面(男子・女子)	改修前	モルタル下地【既存のまま】 長尺ビニル床シートt=2.5【撤去】		CB積み t=100 の上、100角カラータイル【撤去】	100角カラータイル【既存のまま】 RC壁、100角カラータイル【撤去】	けい酸カルシウム板 t=6 目込 防カビ塗装【撤去】 (LGS下地共)	塩ビ製【撤去】	天井点検口 (450x450)【撤去】
		改修後	ポリマーセメントペースト塗り【新設】 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0【新設】	床仕上げ巻上げ H=75【新設】	耐水合板 t=12+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 (LGS下地共)	ポリマーセメントペースト塗り+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 GB-S t=12.5 + 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0【新設】(LGS下地共) + 一部グラスウール t=50 充填24kg/m3	GB-D t=9.5 直張り【新設】(LGS下地共)	塩ビ製【新設】	天井点検口 (450x450)【新設】
2	女子トイレ	改修前	モルタル下地磁器質タイル張り t=30【既存のまま】		CB積み t=100 の上、100角カラータイル【撤去】	100角カラータイル【既存のまま】 RC壁、100角カラータイル【撤去】	けい酸カルシウム板 t=6 目込 防カビ塗装【撤去】 (LGS下地共)	塩ビ製【撤去】	天井点検口 (450x450)【撤去】
		改修後	乾式二重床パーティクルボード t=20 + 構造用合板 t=12下地の上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0【新設】	床仕上げ巻上げ H=75【新設】	耐水合板 t=12+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 (LGS下地共)	ポリマーセメントペースト塗り+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 GB-S t=12.5 + 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0【新設】(LGS下地共) + 一部グラスウール t=50 充填24kg/m3	GB-D t=9.5 直張り【新設】(LGS下地共)	塩ビ製【新設】	天井点検口 (450x450)【新設】
	男子トイレ	改修前	モルタル下地磁器質タイル張り t=30【既存のまま】		CB積み t=100 の上、100角カラータイル【撤去】	100角カラータイル【既存のまま】 RC壁、100角カラータイル【撤去】	けい酸カルシウム板 t=6 目込 防カビ塗装【撤去】 (LGS下地共)	塩ビ製【撤去】	天井点検口 (450x450)【撤去】
		改修後	乾式二重床パーティクルボード t=20 + 構造用合板 t=12下地の上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0【新設】一部汚垂石タイル張り【新設】	床仕上げ巻上げ H=75【新設】	耐水合板 t=12+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 (LGS下地共)	ポリマーセメントペースト塗り+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 GB-S t=12.5 + 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0【新設】(LGS下地共) + 一部グラスウール t=50 充填24kg/m3	GB-D t=9.5 直張り【新設】(LGS下地共)	塩ビ製【新設】	天井点検口 (450x450)【新設】
	洗面(男子・女子)	改修前	モルタル下地【既存のまま】 長尺ビニル床シートt=2.5【撤去】		CB積み t=100 の上、100角カラータイル【撤去】	100角カラータイル【既存のまま】 RC壁、100角カラータイル【撤去】	けい酸カルシウム板 t=6 目込 防カビ塗装【撤去】 (LGS下地共)	塩ビ製【撤去】	天井点検口 (450x450)【撤去】
		改修後	ポリマーセメントペースト塗り【新設】 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0【新設】	床仕上げ巻上げ H=75【新設】	耐水合板 t=12+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 (LGS下地共)	ポリマーセメントペースト塗り+化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】 GB-S t=12.5 + 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0【新設】(LGS下地共) + 一部グラスウール t=50 充填24kg/m3	GB-D t=9.5 直張り【新設】(LGS下地共)	塩ビ製【新設】	天井点検口 (450x450)【新設】
1・2	廊下	改修前				化粧石膏ボード t=9.5【撤去】(LGS下地共)	塩ビ製【撤去】		
		改修後				GB-D t=9.5 直張り【新設】(LGS下地共)	塩ビ製【新設】		

仕上表



- 【凡例】
- 改修部分を示す。
 - 仮設間仕切りを示す。
 - 昇降用足場設置可能場所

1階平面図兼仮設計画図 S=1/200

(A3版は) A2 → A3縮小

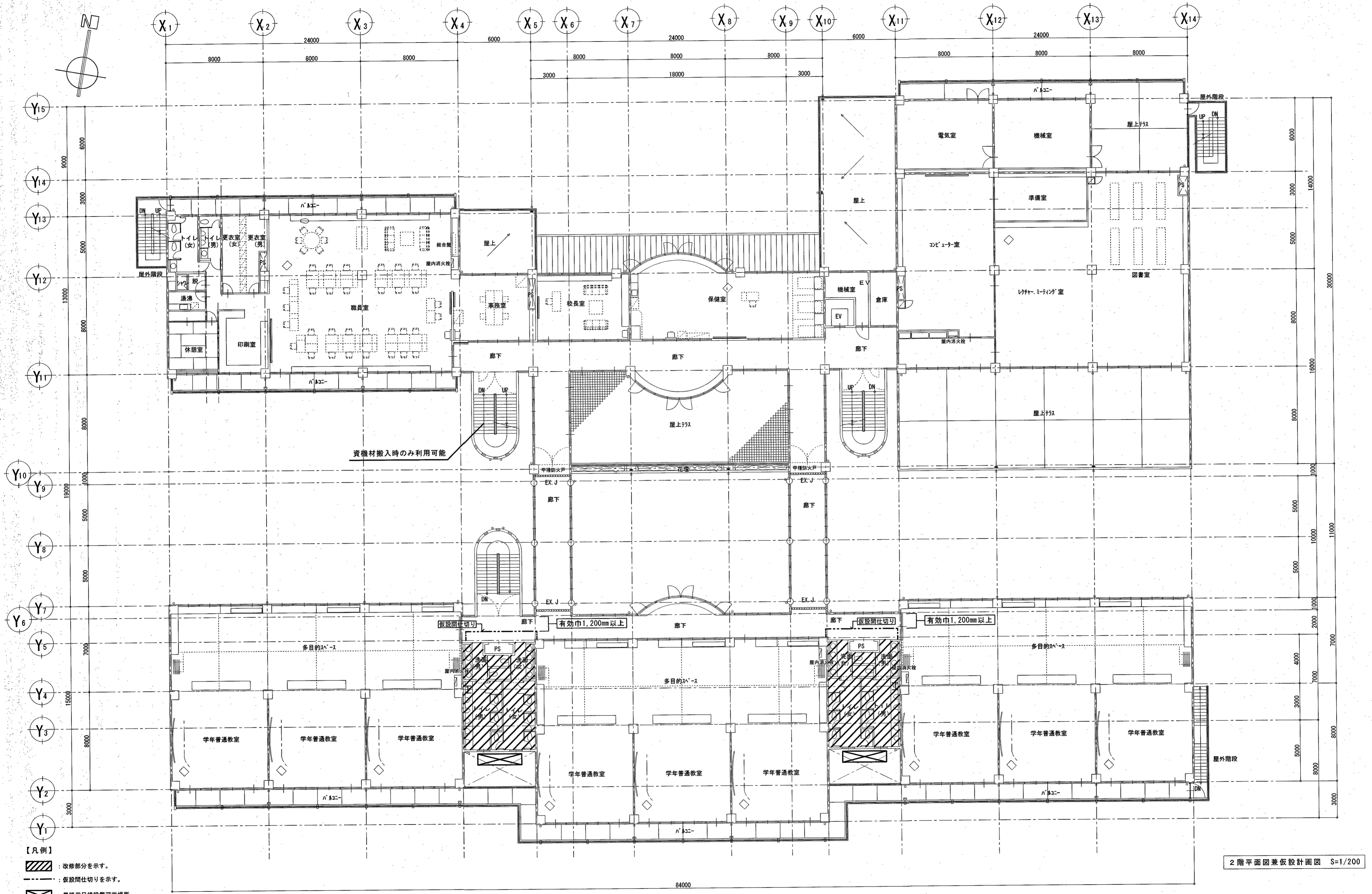
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

株式会社 RISE 設計事務所
 管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 補村佳史

江陽小学校南舎トイレ改修工事			
PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

1階平面図兼仮設計画図

SCALE
1:200 09/A



資機材搬入時のみ利用可能

2階平面図兼仮設計計画図 S=1/200

- 【凡例】
- 改修部分を示す。
 - 仮設間仕切りを示す。
 - 昇降用足場設置可能場所

(A3版は) A2 → A3縮小

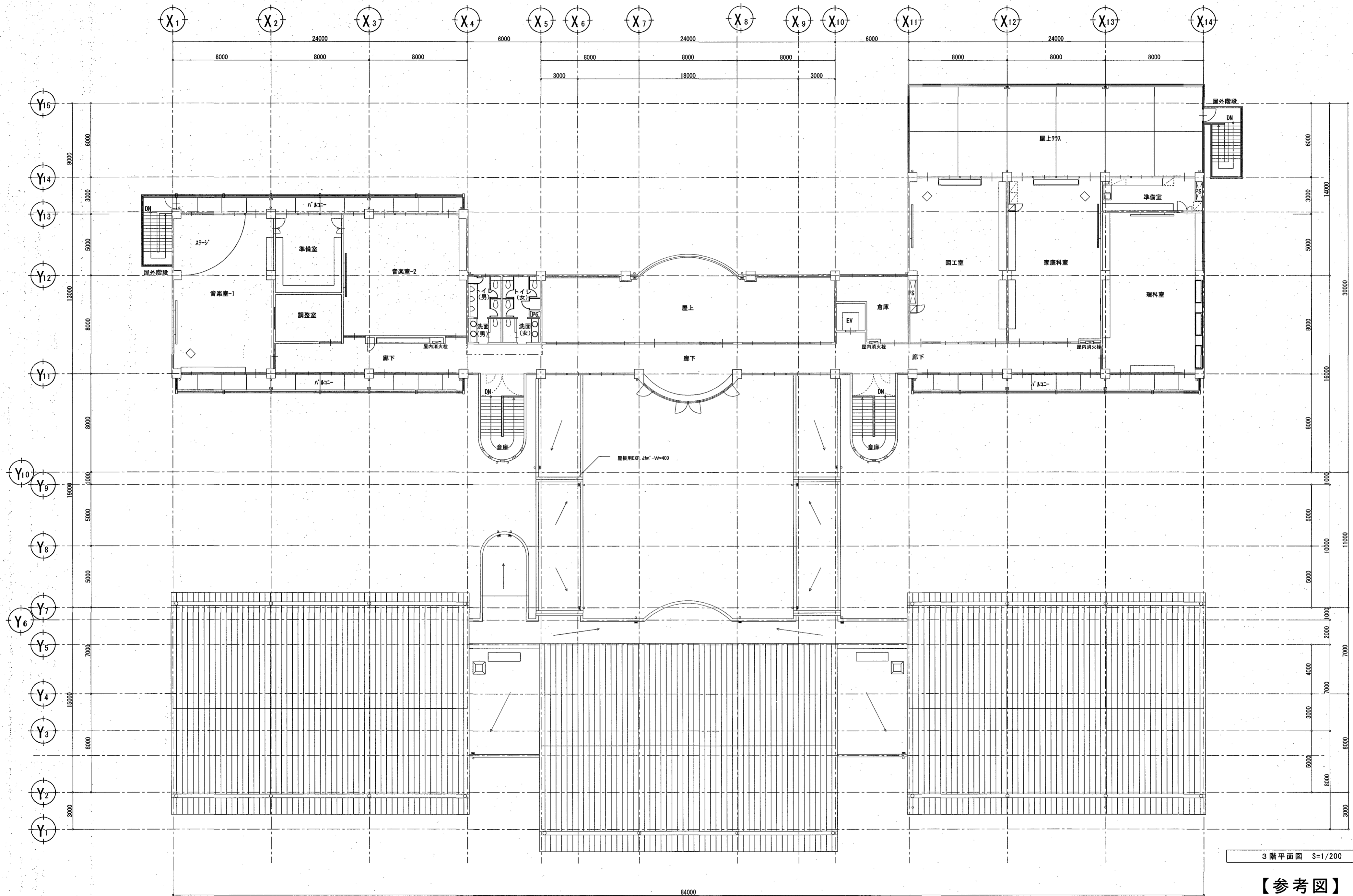
高知市 都市建設部 公共建築課
 係 係長 課長補佐 課長

株式会社 RISE設計事務所
 管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

江陽小学校南舎トイレ改修工事
 PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

2階平面図兼仮設計計画図

SCALE
 1:200 10/A



3階平面図 S=1/200

【参考図】

(A3版は) A2 → A3縮小

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

株式会社 RISE 設計事務所

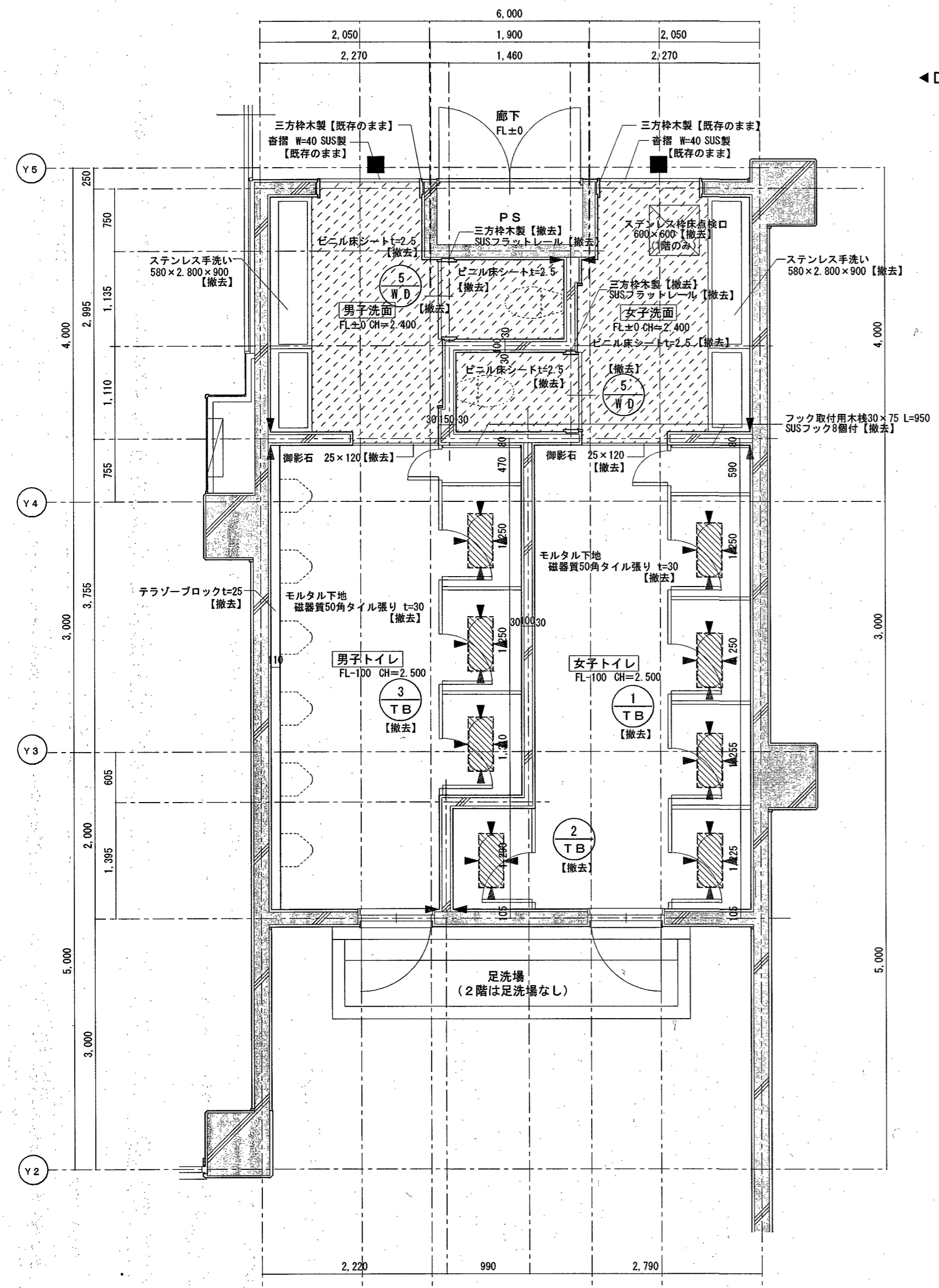
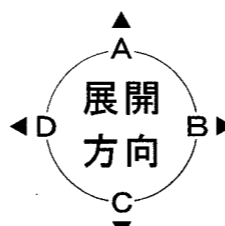
管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

江陽小学校南舎トイレ改修工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
--------------	------	------------	------------

3階平面図【参考図】

SCALE
1:200
11
A



※ 点線で表現されている既存衛生器具及び手摺撤去は設備工事とする。

■ : ピクトサイン 200×200【撤去】位置を示す。

▲ : カッター切りを示す。

▨ : RC壁【既存のまま】を示す。

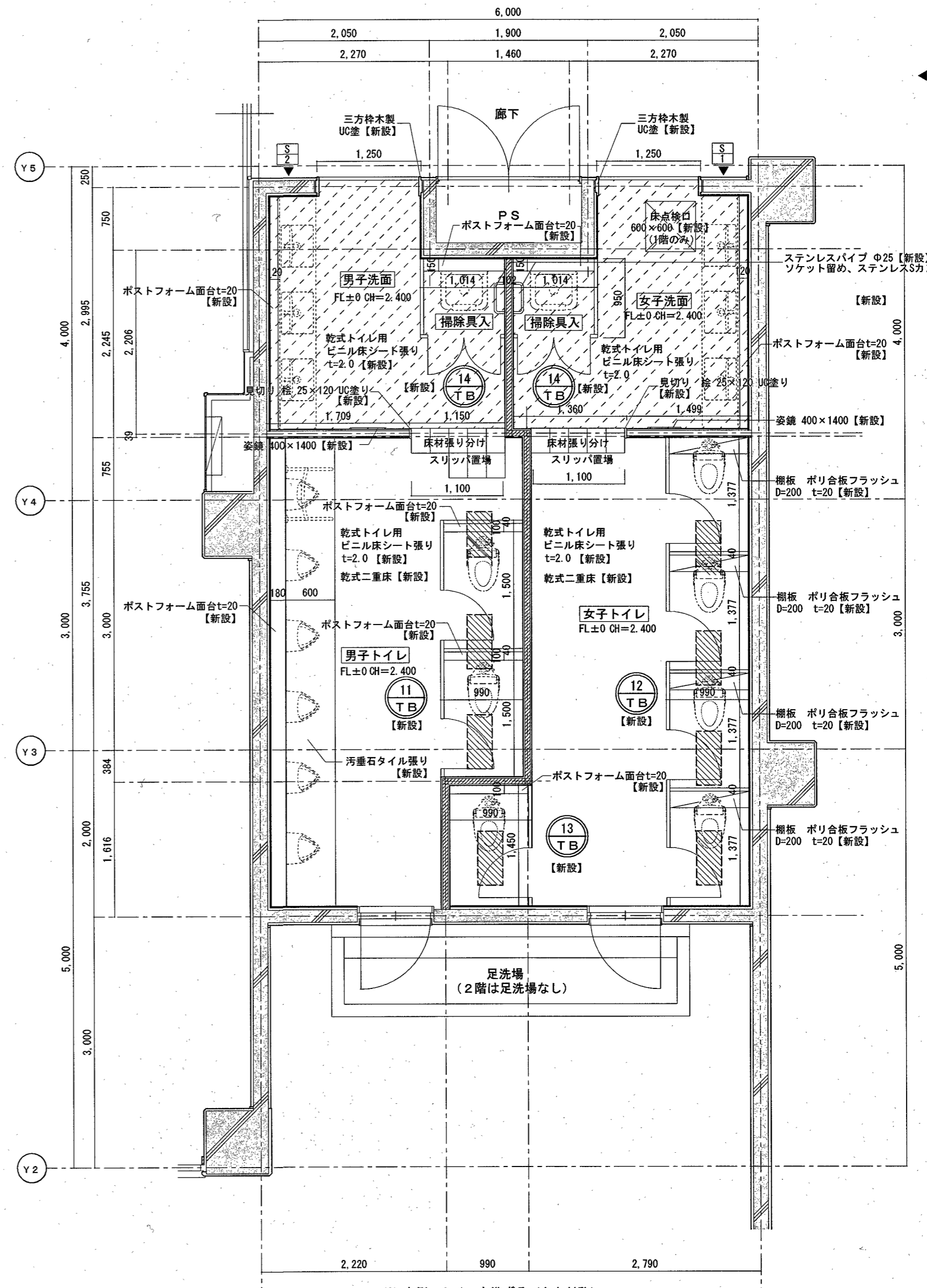
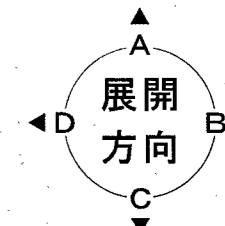
▧ : RC壁【撤去】を示す。

▩ : ビニル床シートt=2.5【撤去】を示す。

※ カッター切りの上、スラブ【撤去】を示す。(650×300程度)

※ 東側のトイレも準ずる(左右対称)

1・2階 普通教室トイレ 平面詳細図 S=1:50 【改修前】



※ 点線で表現されている既存衛生器具及び手摺撤去は設備工事とする。

■ : ピクトサイン 200×200【撤去】位置を示す。

▲ : カッター切りを示す。

▨ : RC壁【既存のまま】を示す。

▧ : RC壁【撤去】を示す。

▩ : ビニル床シートt=2.5【撤去】を示す。

※ カッター切りの上、スラブ【撤去】を示す。(650×300程度)

※ 東側のトイレも準ずる(左右対称)

1・2階 普通教室トイレ 平面詳細図 S=1:50 【改修後】

備考

- ※ 既存壁手洗い撤去部、既存RC・CB壁撤去部モルタル補修塗りt=30とする。
- ※ 露出した既存鉄筋等は、錆止め塗装をおこなう。
- ※ 点線で記載されている新設衛生器具及び手洗いカウンター・鏡は設備工事とする。
- ※ 化粧けい酸カルシウム板の取り合い部(出隅、総目等)にはアルミジョイナーを設置すること。

▨ : 化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】

GB-St=12.5下地【新設】

軽量鉄骨壁下地(LGS-65) + グラスウール充填t=50(24kg/m3)【新設】

※ LGS、グラスウール、GB-Sは上部スラブまで運するものとする。

▨ : 化粧けい酸カルシウム板張りt=6.0【新設】

GB-St=12.5下地【新設】

軽量鉄骨壁下地(LGS-65)【新設】

▨ : 和式便器(床)開口塞ぎ範囲を示す。(650×300程度)

▨ : 乾式トイレ用ビニル床シート張りt=2.0

ポリマーセメントペースト塗り【新設】範囲を示す。

▼ : ピクトサイン設置箇所を示す。(H=FL+800程度)

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
鈴木	菅岡	菅岡	松本

株式会社 RISE設計事務所

管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

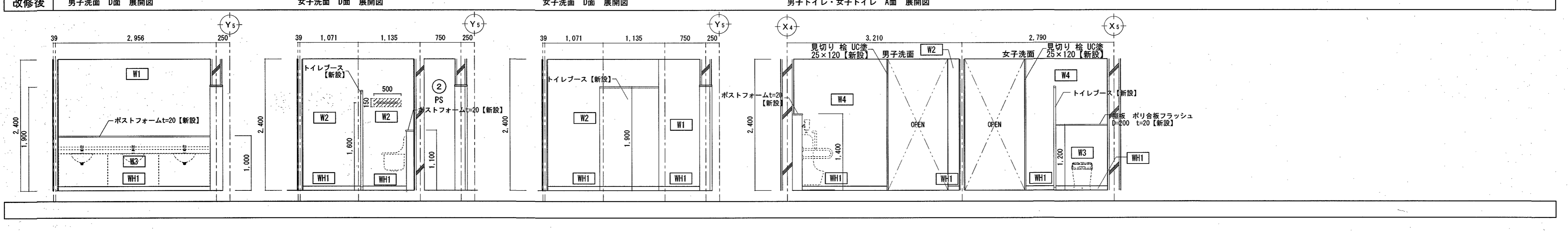
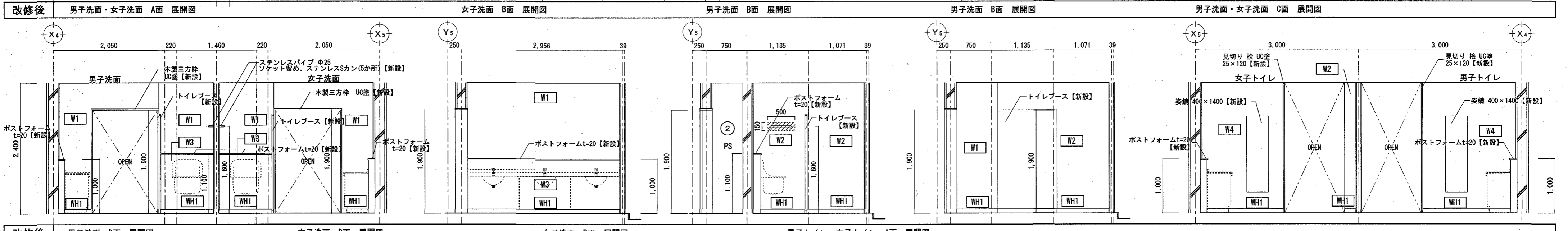
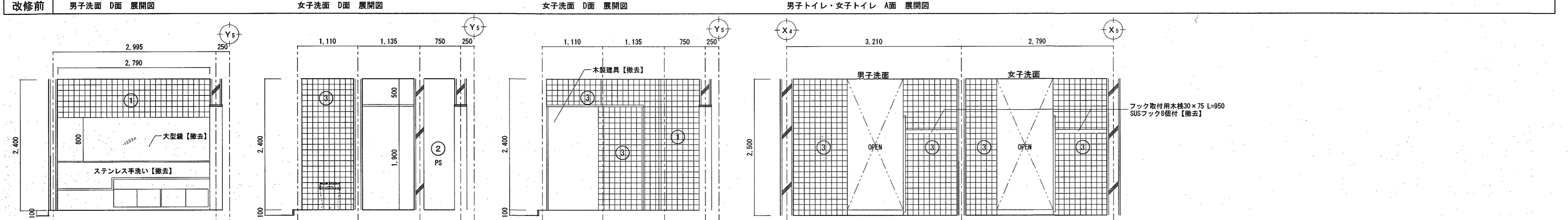
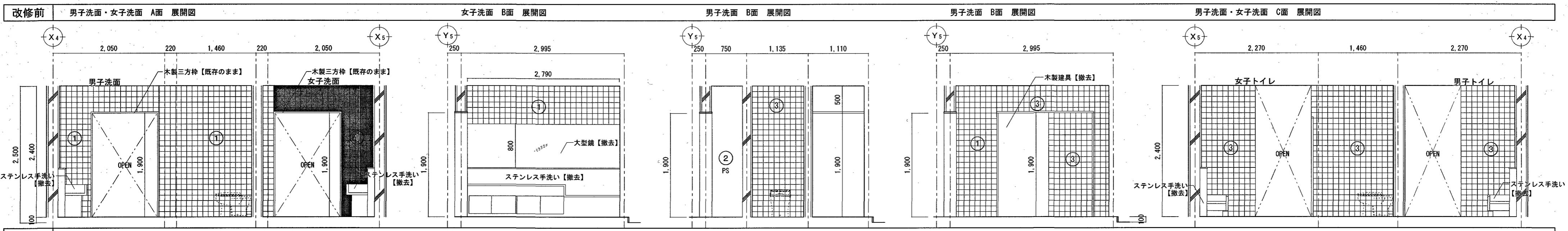
江陽小学校南舎トイレ改修工事			
PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
	2025/7		

1・2階 普通教室トイレ 平面詳細図

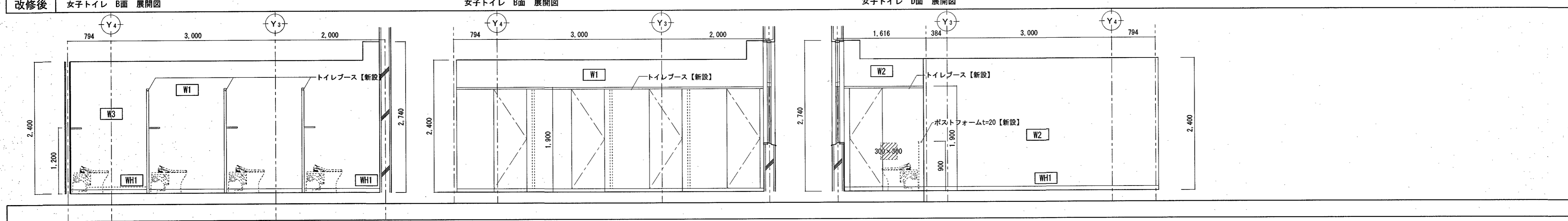
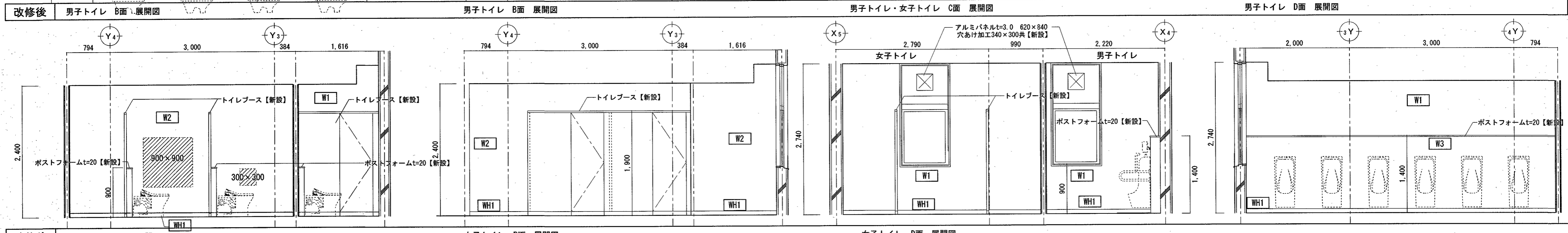
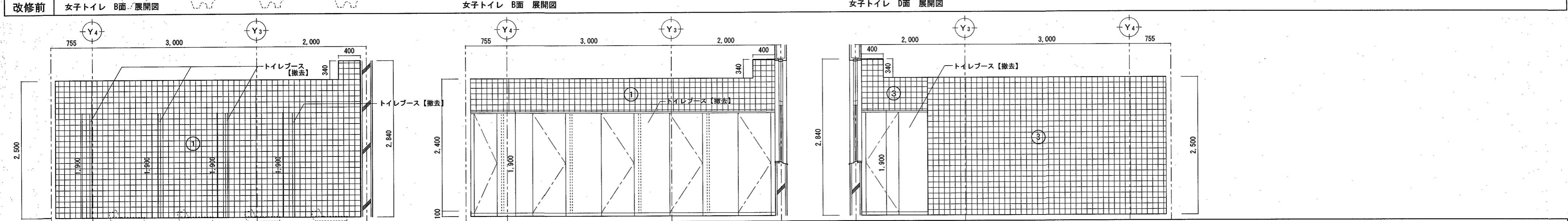
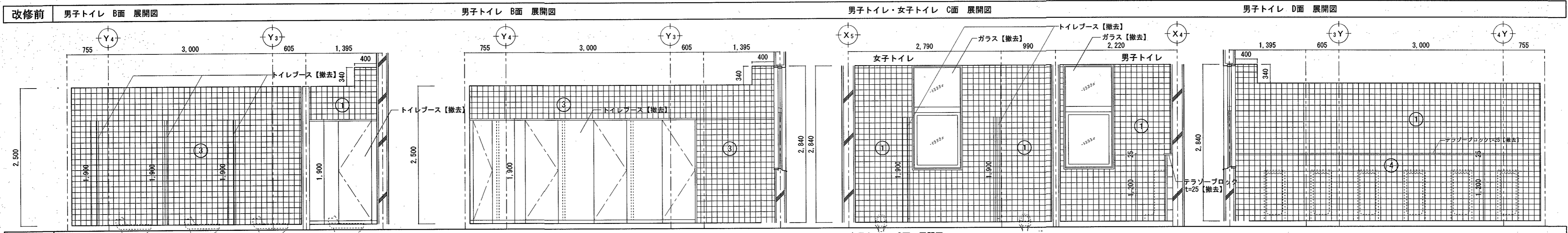
【改修前】 【改修後】

SCALE 1:50 12/A

(A3版は) A2 → A3縮小



凡例		改修後		特記事項	
記号	改修前	記号	改修後	記号	改修後
①	100角カラータイル【既存のまま】	W1	【新設】ポリマーセメントペースト塗り 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6 既存100角タイルの上	WH1	【新設】床材巻き上げ H=75
②	コンクリート打放し【既存のまま】	W2	【新設】GB-S t=12.5の上化粧ケイ酸カルシウム板 t=6 グラスウールt=50充填(24kg/m3) LGS65		
③	100角カラータイル【撤去】 コンクリート壁【撤去】	W3	【新設】耐水合板 t=12の上化粧ケイ酸カルシウム板 t=6 LGS65		
④	100角カラータイル【撤去】 CB積み t=100【撤去】	W4	【新設】GB-S t=12.5の上化粧ケイ酸カルシウム板 t=6 LGS65		



凡例				特記事項	
記号	改修前	記号	改修後	記号	改修後
①	100角カラータイル【既存のまま】	W1	【新設】ポリマーセメントベースト塗り 化粧珪酸カルシウム板 t=6 既存100角タイルの上	WH1	【新設】床材巻き上げ H=75
②	コンクリート打放し【既存のまま】	W2	【新設】GB-S t=12.5の上化粧珪酸カルシウム板 t=6 グラスウールt=50充填(24kg/m3) 【新設】LGS65		
③	100角カラータイル【撤去】 コンクリート壁【撤去】	W3	【新設】耐水合板 t=12の上化粧珪酸カルシウム板 t=6 【新設】LGS65		
④	100角カラータイル【撤去】 CB積み t=100【撤去】	W4	【新設】GB-S t=12.5の上化粧珪酸カルシウム板 t=6 【新設】LGS65		

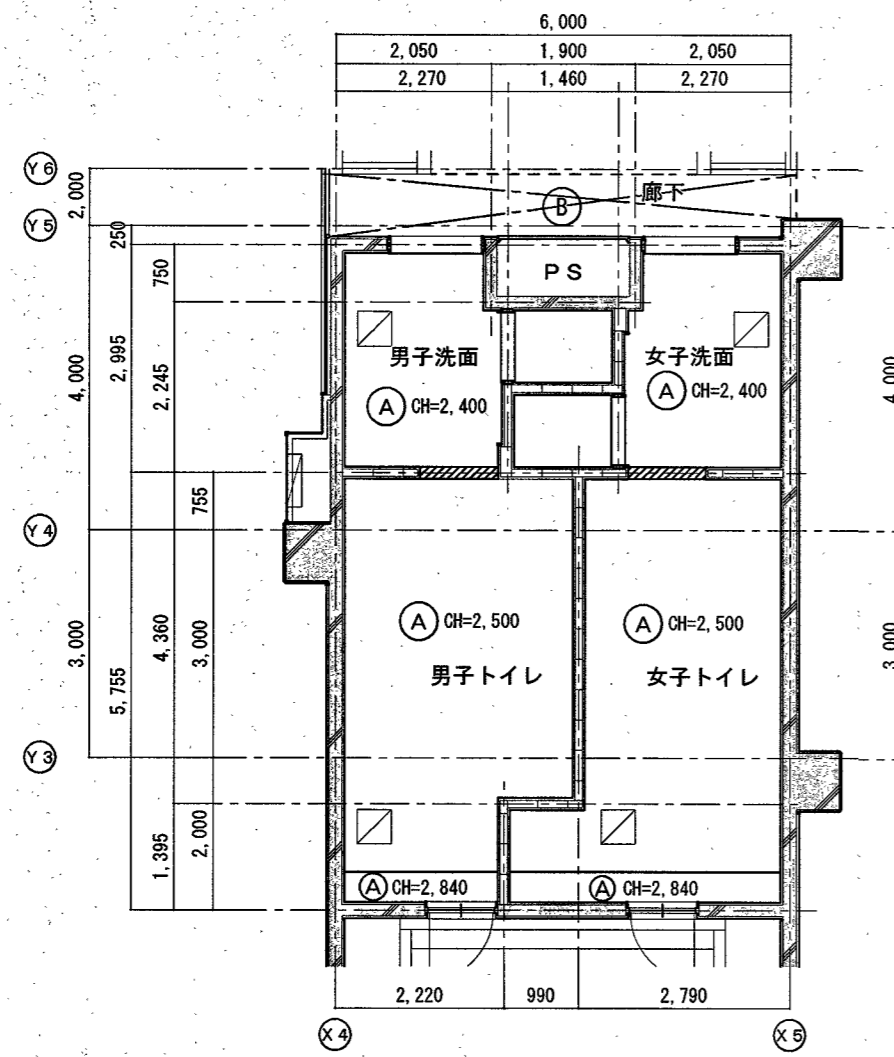
高知市 都市建設部 公共建築課
 係長 鈴木 課長補佐 菅岡 課長 豊田 松本

株式会社 RISE設計事務所
 管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

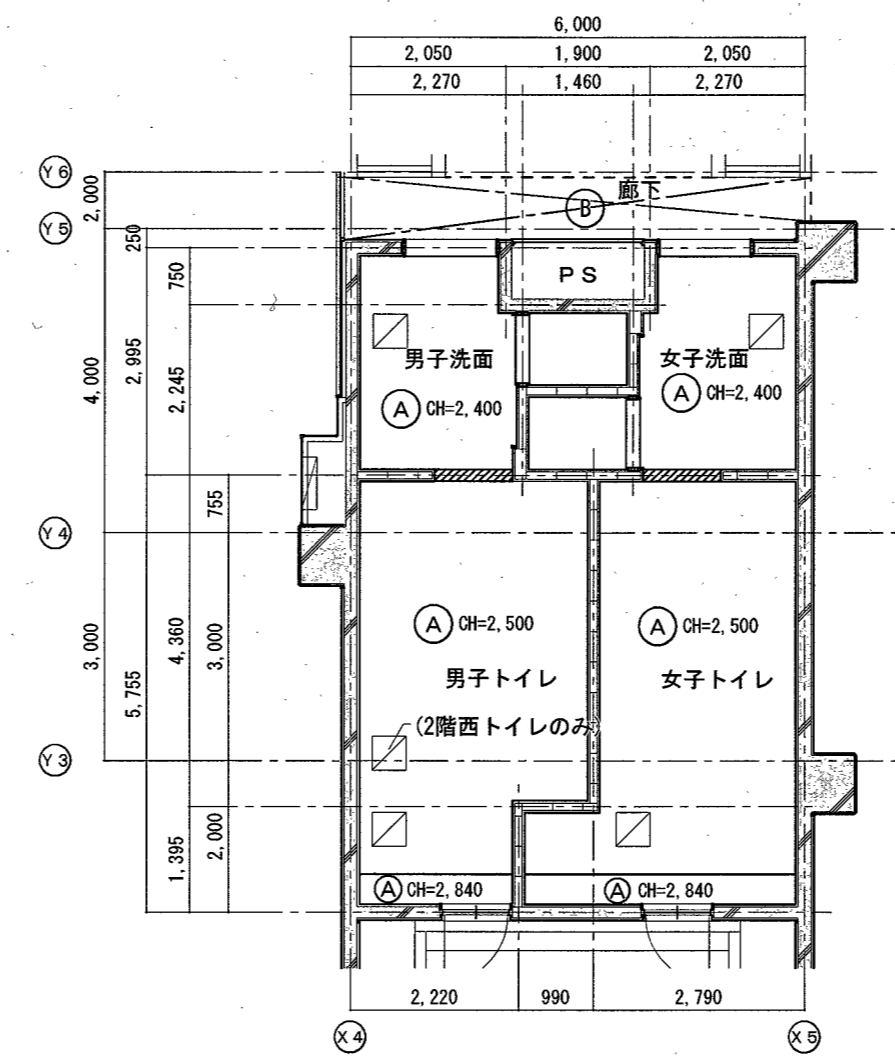
江陽小学校南舎トイレ改修工事
 PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

1・2階 普通教室トイレ 展開図 2
 【改修前】 【改修後】
 SCALE 1:50 14 A

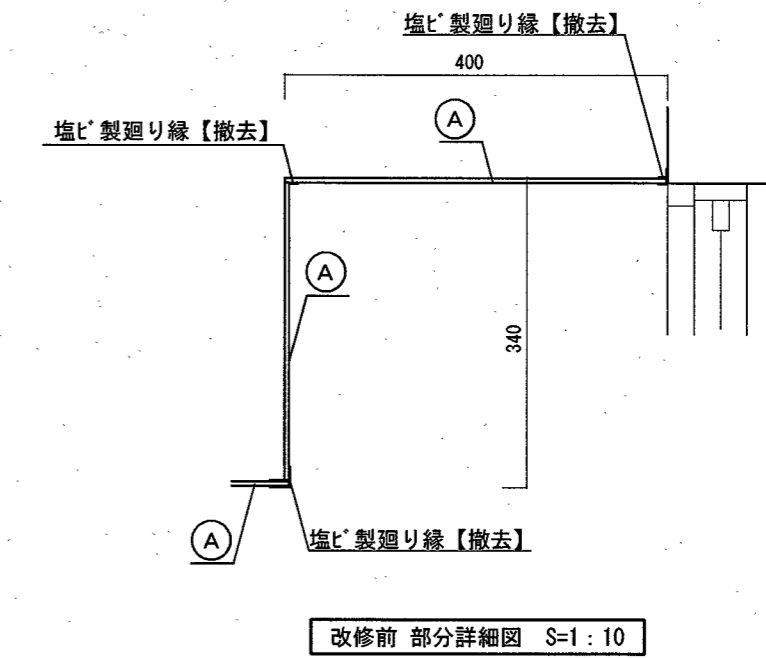
改修前



1階 普通教室トイレ 天井伏図 S=1:100
※東側のトイレも準ずる (左右対称)

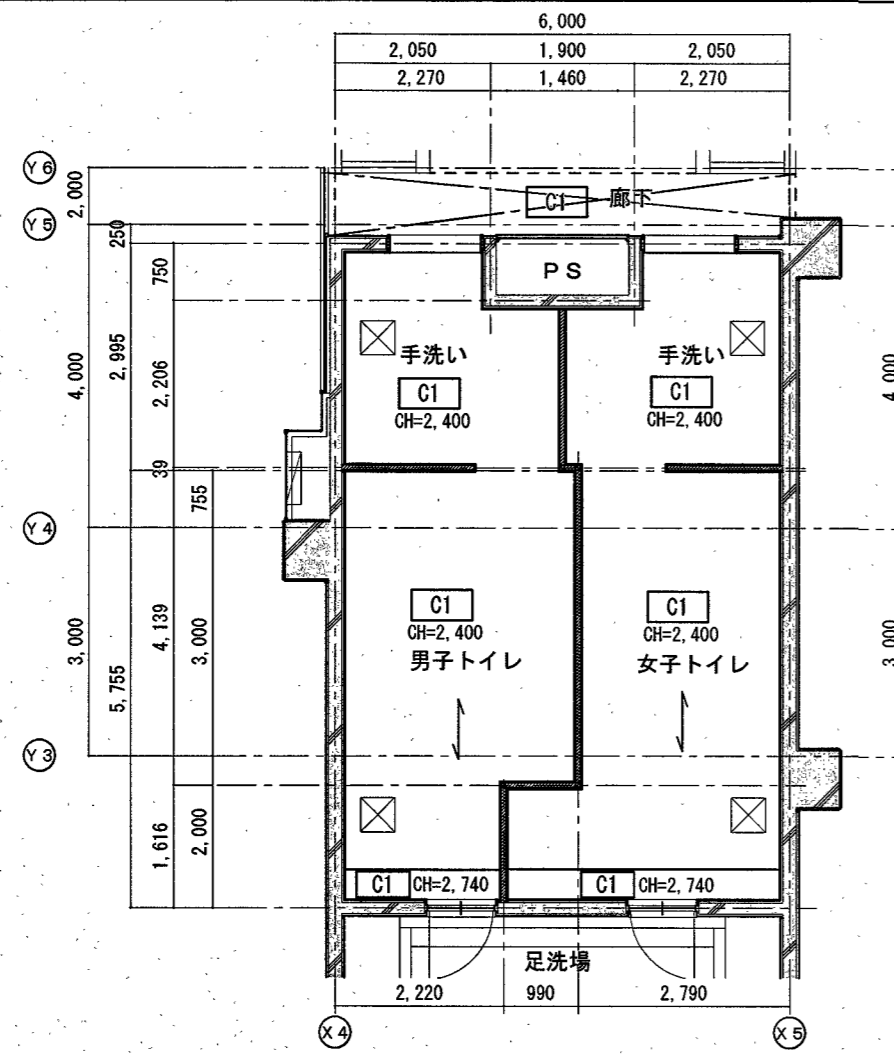


2階 普通教室トイレ 天井伏図 S=1:100
※東側のトイレも準ずる (左右対称)

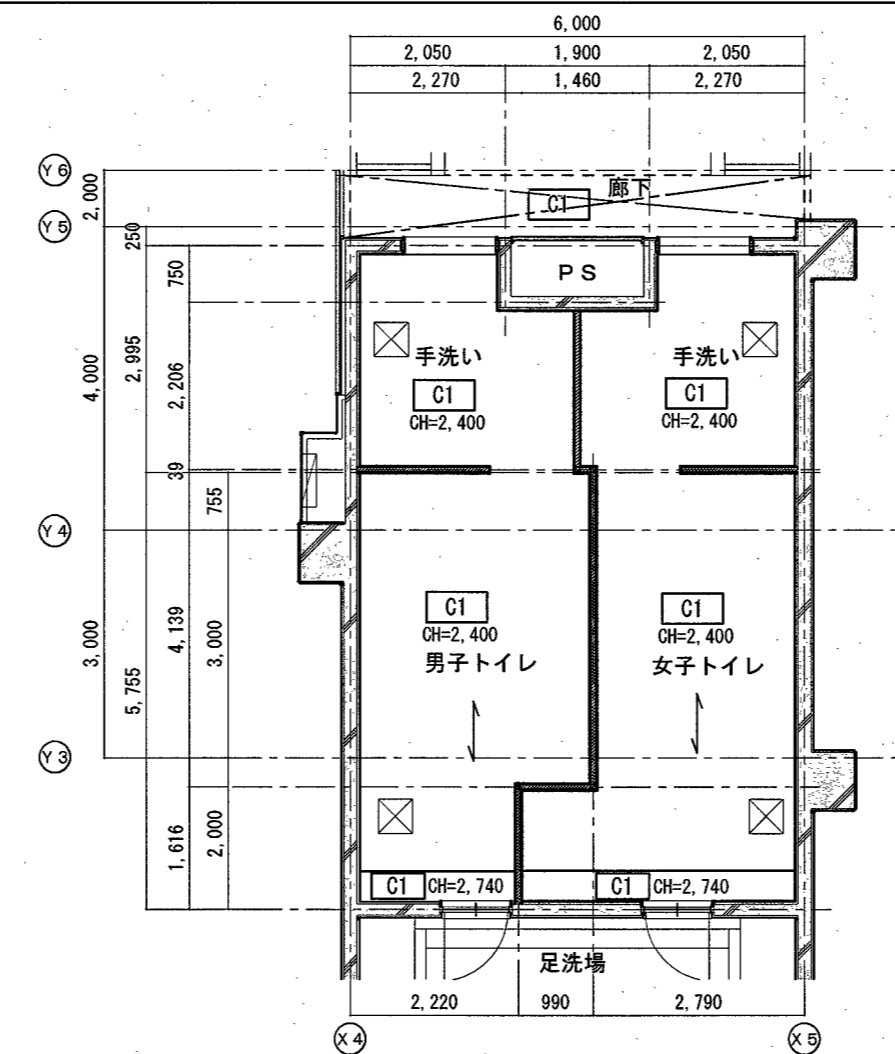


改修前 部分詳細図 S=1:10

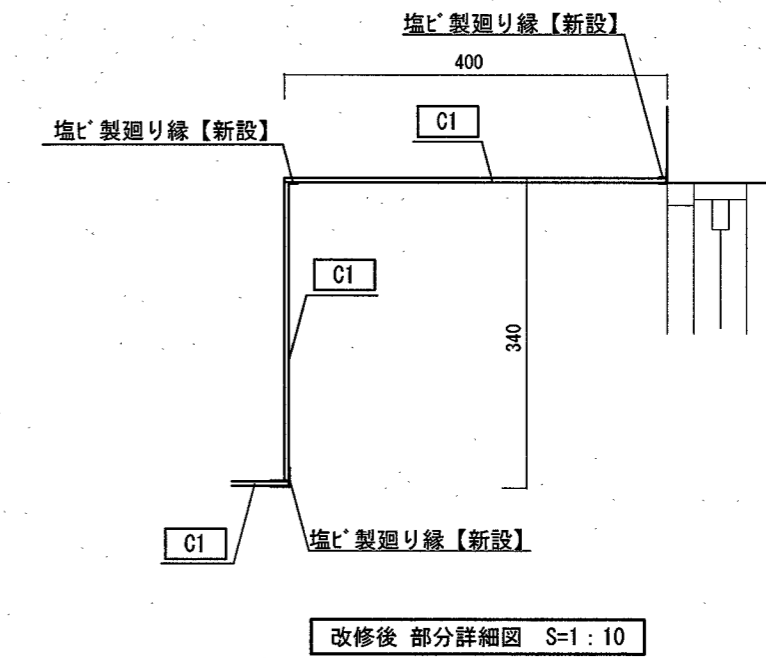
改修後



1階 普通教室トイレ 天井伏図 S=1:100
※東側のトイレも準ずる (左右対称)



2階 普通教室トイレ 天井伏図 S=1:100
※東側のトイレも準ずる (左右対称)



改修後 部分詳細図 S=1:10

：張り方向を示す

凡例		特記事項	
記号	改修前	記号	改修後
(A)	けい酸カルシウム板(7)6貼目ｽｯ 防カビ塗装【撤去】(LGS下地、廻り縁共)	C1	【新設】GB-D直張りt=9.5 (LGS天井下地共) 塩ビ製廻り縁共
(B)	化粧石こうボード直張りt=9.5【撤去】(LGS下地、廻り縁共)		

(A3版は) A2 → A3縮小

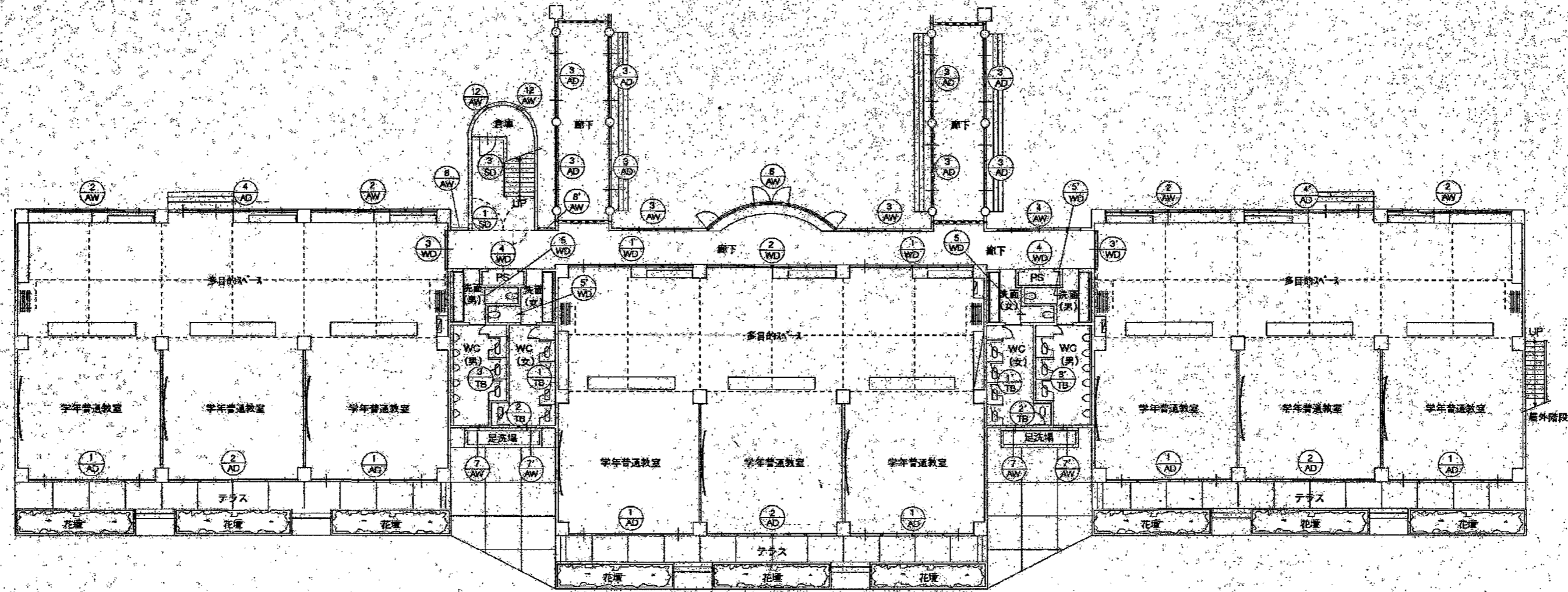
高知市 都市建設部 公共建築課
係長 鈴木 課長 松本 課長補佐 世岡

株式会社 RISE設計事務所
管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

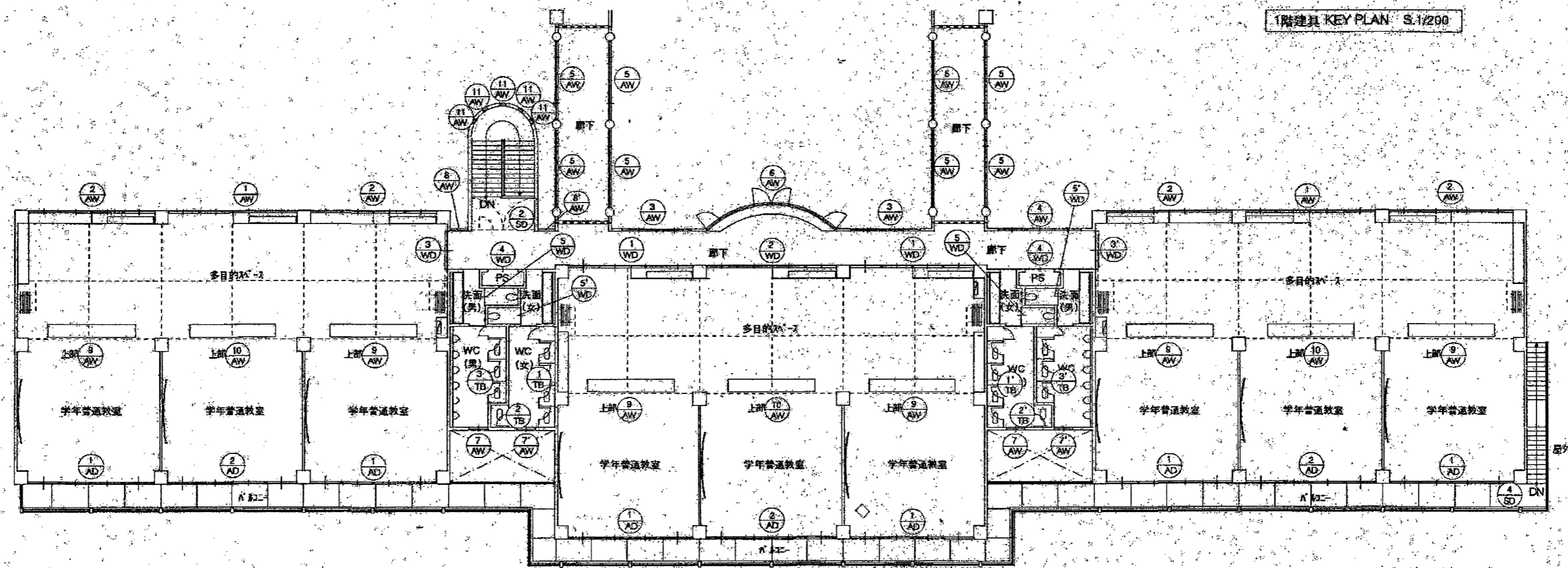
江陽小学校南舎トイレ改修工事
PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

天井伏図
【改修前】 【改修後】

SCALE 1:100・10 15 A



1階建具 KEY PLAN S.1/200



2階建具 KEY PLAN S.1/200

南舎1・2階 建具配置図 S-1:100
【改修前】

【参考図】

(A3版は) A2 → A3縮小

高知市 都市建設部 公共建築課				株式会社 RISE設計事務所				江陽小学校南舎トイレ改修工事				1・2階 建具配置図		SCALE 16	
係	係長	課長補佐	課長					PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY	【参考図】		1:100 A	
				管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史											

記号	① SD 普通教室	② SD 普通教室	③ SD 倉庫	④ SD バルコニー
形状				
寸法	3400	3400	1700	1900
材料	2x4材(杉・ヒノキ) 壁紙(ビニル系) 2x2材 建具(樹脂)	2x4材(杉・ヒノキ) 壁紙(ビニル系) 2x2材 建具(樹脂)	2x4材(杉・ヒノキ) 壁紙(ビニル系) 2x2材 建具(樹脂)	2x4材(杉・ヒノキ) 壁紙(ビニル系) 2x2材 建具(樹脂)
金物	4x4材 2x4材 2x2材 2x2材 建具(樹脂)一式	4x4材 2x4材 2x2材 2x2材 建具(樹脂)一式	4x4材 2x4材 2x2材 2x2材 建具(樹脂)一式	4x4材 2x4材 2x2材 2x2材 建具(樹脂)一式
塗装	OP塗	OP塗	OP塗	OP塗
硝子	1ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
架数	1ヶ架	2ヶ架	1ヶ架	1ヶ架
記号	① WD 普通教室	② WD 普通教室	③ WD 倉庫	④ WD 廊下・PS
形状				
寸法	1700	1700	1700	1700
材料	木製引手(杉・ヒノキ) 引手(樹脂) 引手(樹脂)	木製引手(杉・ヒノキ) 引手(樹脂) 引手(樹脂)	木製引手(杉・ヒノキ) 引手(樹脂) 引手(樹脂)	木製引手(杉・ヒノキ) 引手(樹脂) 引手(樹脂)
金物	SUS合板引手 SUS引手 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 建具(樹脂)一式	SUS合板引手 SUS引手 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 建具(樹脂)一式	SUS合板引手 SUS引手 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 建具(樹脂)一式	SUS合板引手 SUS引手 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 建具(樹脂)一式
塗装	CL塗	CL塗	CL塗	CL塗
硝子	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所
架数	4ヶ架	4ヶ架	4ヶ架	4ヶ架
記号	⑤ WD 男女子WC	① TB ①' TB ② TB ②' TB ③ TB ③' TB 男女子WC		
形状				
寸法	1700	1700	1700	1700
材料	木製引手(杉・ヒノキ) 引手(樹脂) 引手(樹脂)	木製引手(杉・ヒノキ) 引手(樹脂) 引手(樹脂)	木製引手(杉・ヒノキ) 引手(樹脂) 引手(樹脂)	木製引手(杉・ヒノキ) 引手(樹脂) 引手(樹脂)
金物	SUS合板引手 SUS引手 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 2ヶ所 建具(樹脂)一式	標準仕様一式 内開引手 外開引手 鍵取 戸止 戸止 戸止 建具(樹脂)一式	標準仕様一式 内開引手 外開引手 鍵取 戸止 戸止 戸止 建具(樹脂)一式	標準仕様一式 内開引手 外開引手 鍵取 戸止 戸止 戸止 建具(樹脂)一式
塗装	小口CL塗			
硝子	4ヶ所			
架数	WD5 = 4ヶ架・WD5' = 4ヶ架	TB-1 = 2ヶ架・TB-1' = 2ヶ架	TB-2 = 2ヶ架・TB-2' = 2ヶ架	TB-3 = 2ヶ架・TB-3' = 2ヶ架

(A3版は) A2 → A3縮小

高知市 都市建設部 公共建築課
 係長 鈴木 課長補佐 菅岡 課長 山本 課長 松本

株式会社 RISE設計事務所
 管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

江陽小学校南舎トイレ改修工事
 PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

建具リスト 1
 【改修前】

SCALE 1:50 17/A

記号・位置	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-right: 5px;">11 TB</div> <div style="margin-left: 200px;">1・2階普通教室男子トイレ</div> <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 新設 4カ所 </div> </div>	
※ 東側のトイレも準ずる（左右対称） ※ 図		
型式	トイレブース	
種類 見込	高圧マシ樹脂化粧板	見込40
ガラス他		
建具金物	ステンレス頭繋ぎ、アルミールエッジ、グレティン、戸当り、帽子掛、スライド錠、ステンレス巾木、その他附属金物一式	
備考	スライド錠：非常時開錠付き（内開き戸は非常時外開き機能を有する）	
記号・位置	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-right: 5px;">12 TB</div> <div style="margin-left: 200px;">1・2階普通教室女子トイレ</div> <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 新設 4カ所 </div> </div>	
※ 東側のトイレも準ずる（左右対称） ※ 図		
型式	トイレブース	
種類 見込	高圧マシ樹脂化粧板	見込40
ガラス他		
建具金物	ステンレス頭繋ぎ、アルミールエッジ、グレティン、戸当り、帽子掛、スライド錠、ステンレス巾木、その他附属金物一式	
備考	スライド錠：非常時開錠付き（内開き戸は非常時外開き機能を有する）	
記号・位置	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-right: 5px;">13 TB</div> <div style="margin-left: 200px;">1・2階普通教室女子トイレ</div> <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 新設 4カ所 </div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-right: 5px;">14 TB</div> <div style="margin-left: 200px;">1・2階普通教室トイレ</div> <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 新設 8カ所 </div> </div>
※ 東側のトイレも準ずる（左右対称） ※ 図		<p>※ 男子トイレと女子トイレは左右対称とする。</p>
型式	トイレブース	トイレブース
種類 見込	高圧マシ樹脂化粧板	高圧マシ樹脂化粧板
ガラス他	見込40	見込40
建具金物	ステンレス頭繋ぎ、アルミールエッジ、グレティン、戸当り、帽子掛、スライド錠、ステンレス巾木、その他附属金物一式	
備考	スライド錠：非常時開錠付き（内開き戸は非常時外開き機能を有する）	

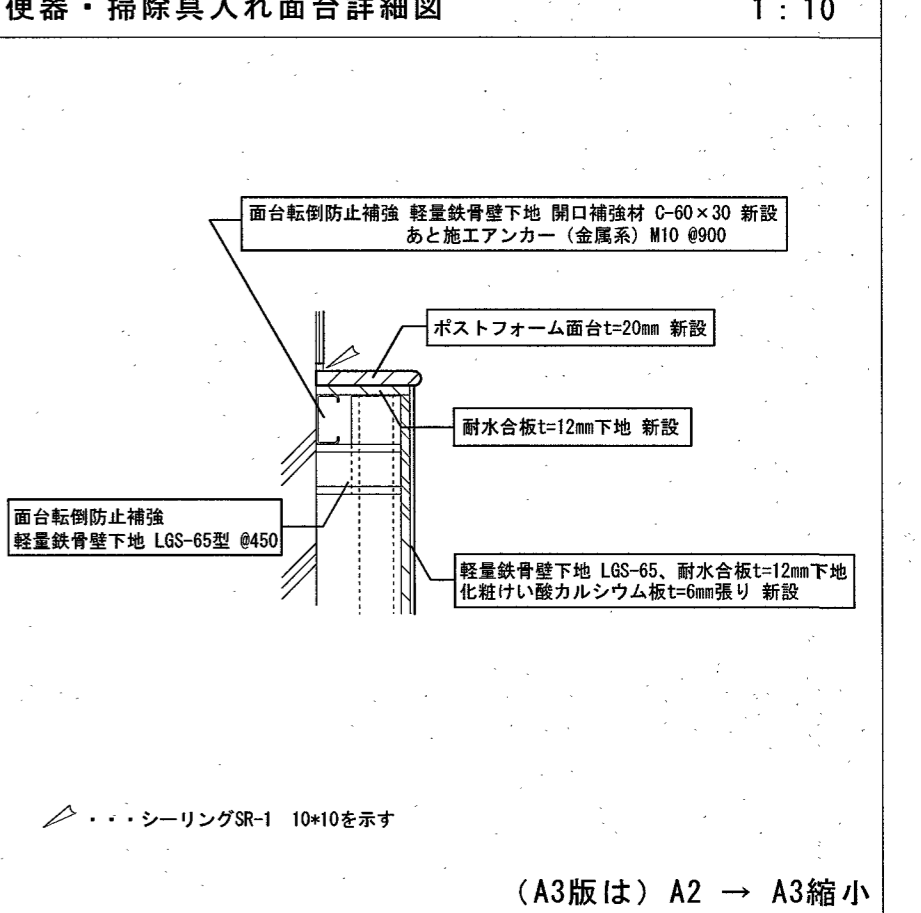
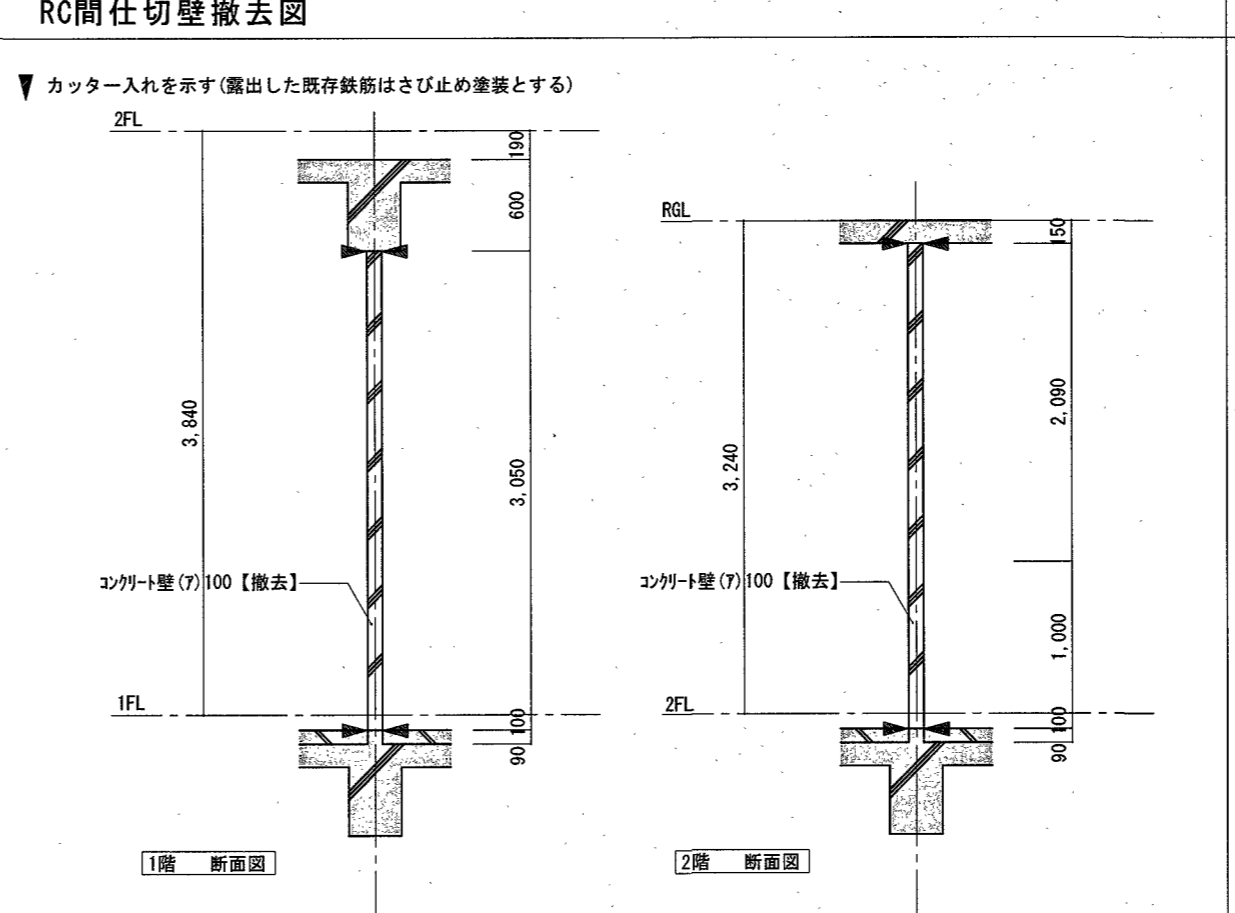
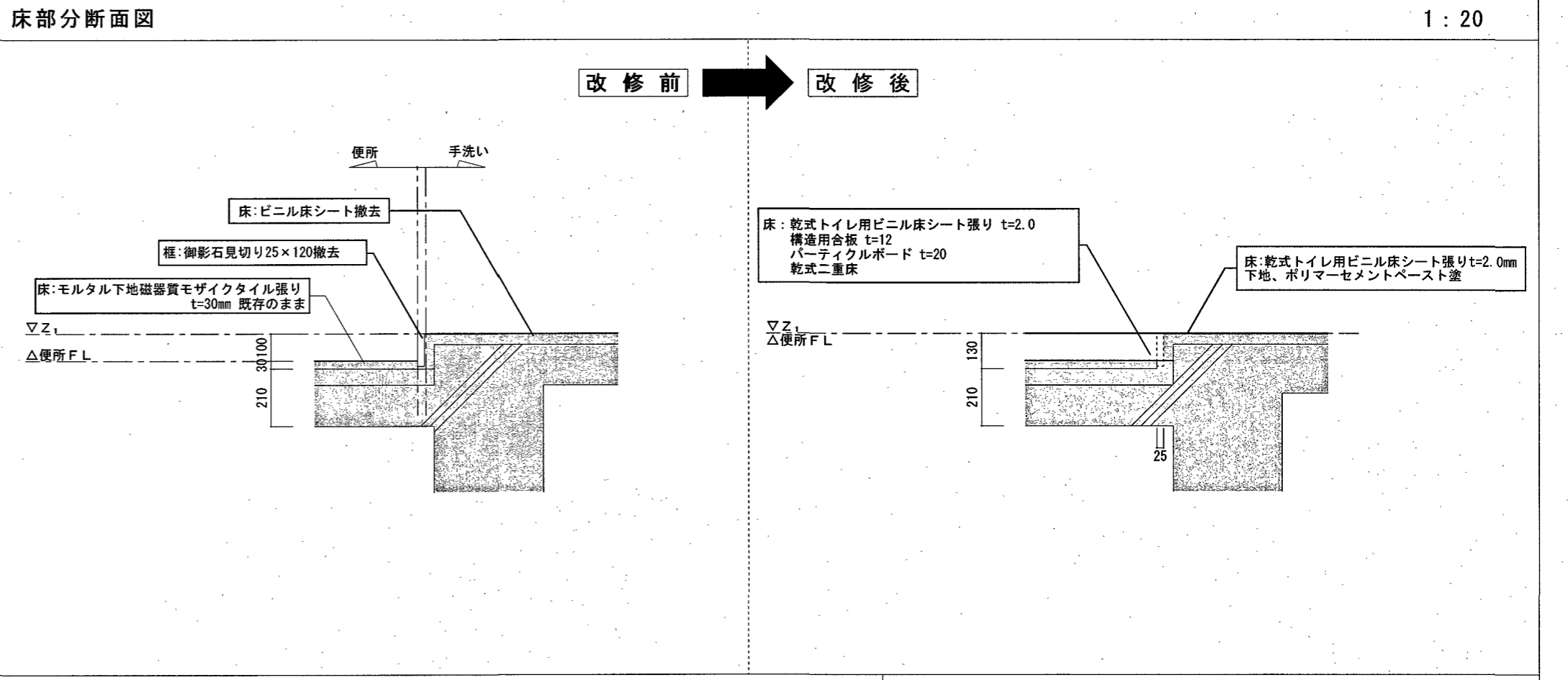
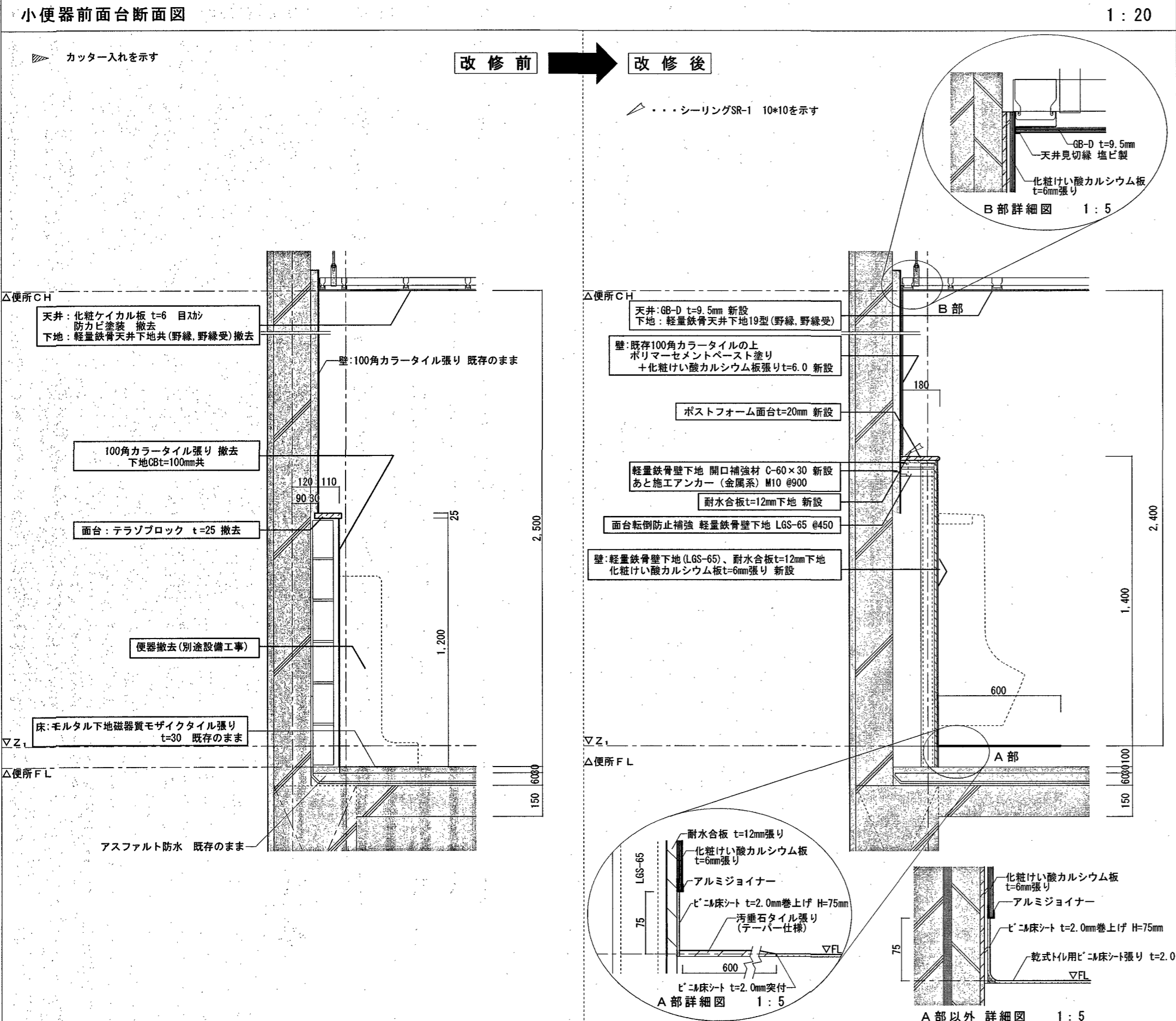
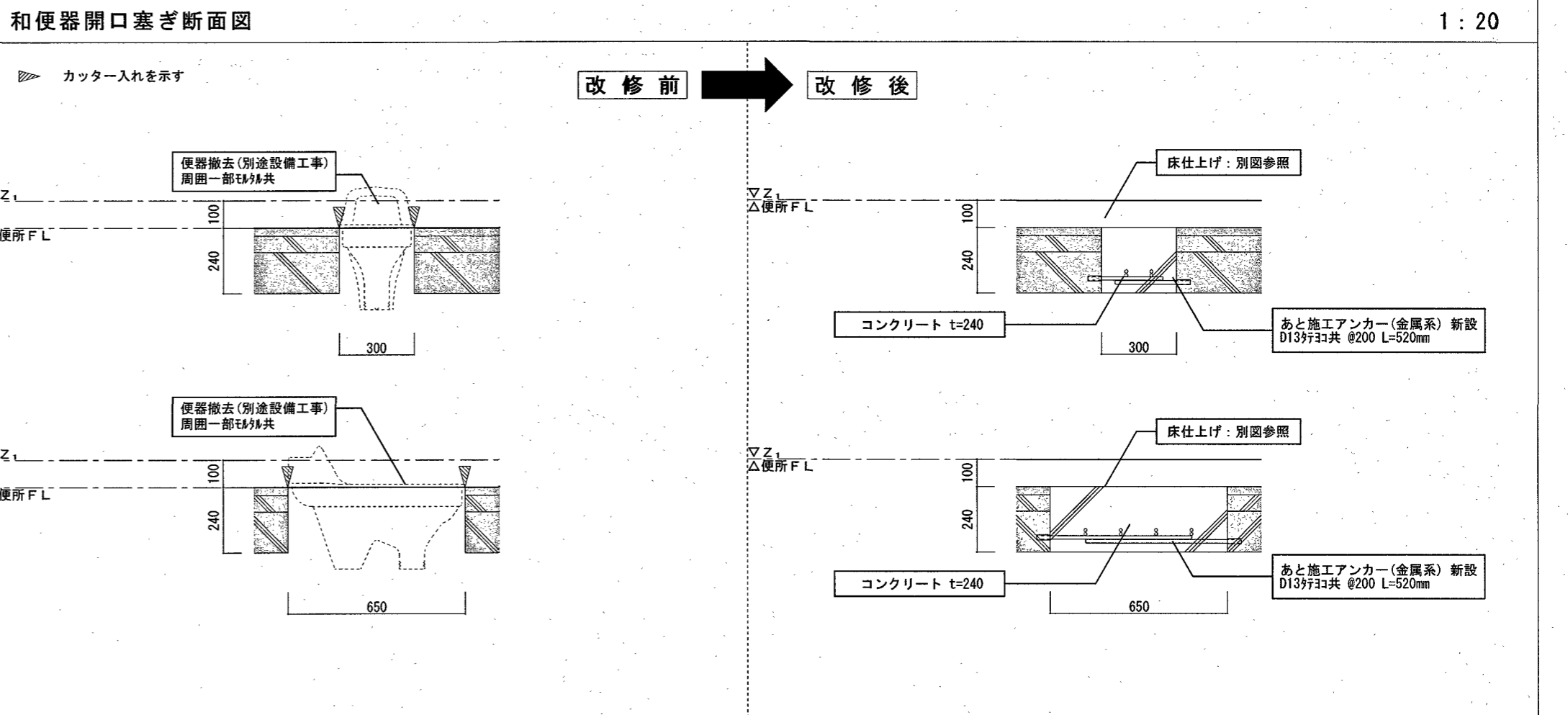
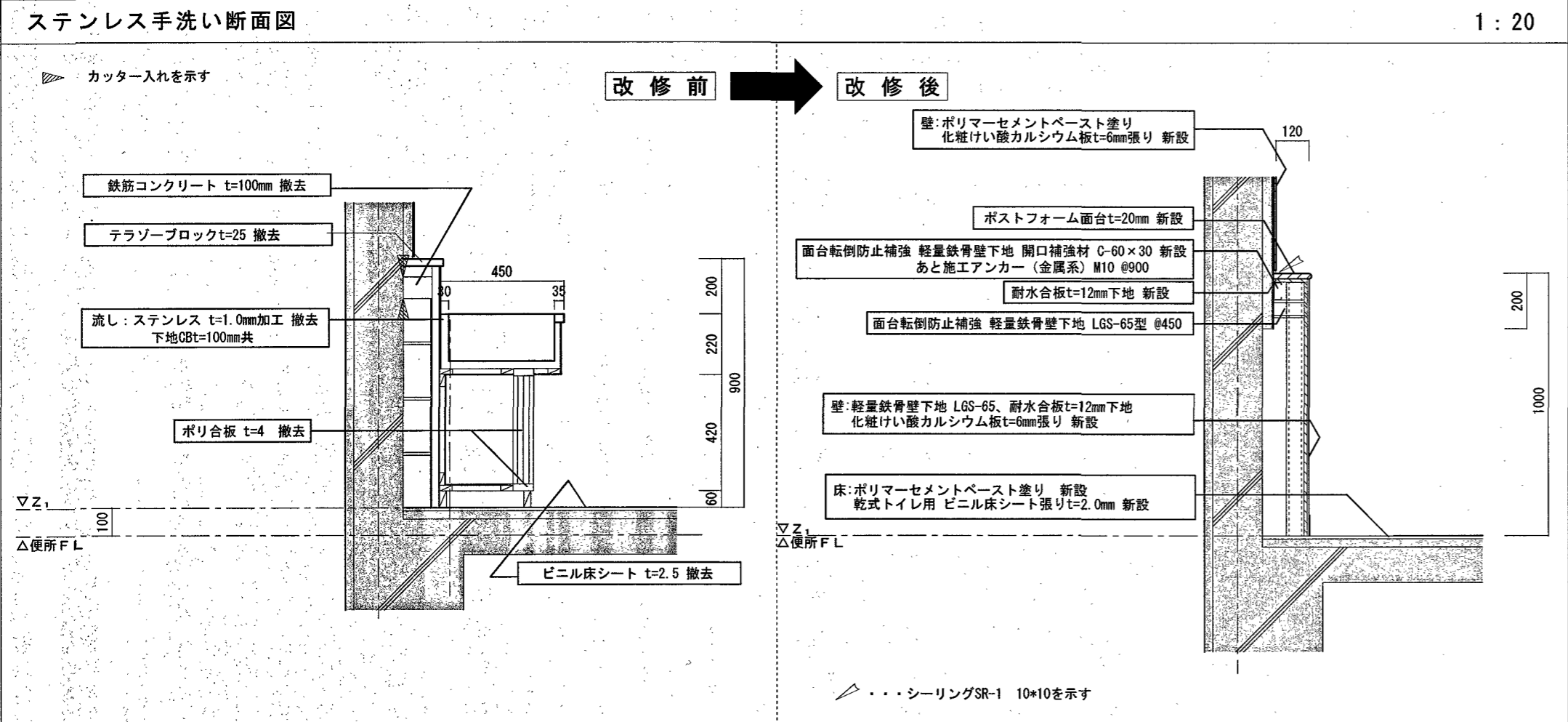
(A3版は) A2 → A3縮小

高知市 都市建設部 公共建築課
 係 係長 課長補佐 課長

株式会社 RISE設計事務所
 管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

江陽小学校南舎トイレ改修工事
 PLANNING NO. DATE DRAWING BY CHECKED BY

建具リスト 2
 【改修後】
 SCALE 1:50 18/A



記号・数量	S 1	4カ所	S 2	4カ所
室名	WC(女)		WC(男)	
寸法・姿	<p>※特記：ピクトグラムは公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団「標準案内用記号ガイドライン」による。</p>		<p>※特記：ピクトグラムは公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団「標準案内用記号ガイドライン」による。</p>	
材料	表示面	ピクトグラフ	表示面	ピクトグラフ
	表示方法	アクリル板・カットニングシート		アクリル板・カットニングシート
	サイズ(W×H)			
	備考			

(A3版は) A2 → A3縮小

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
鈴木	菅岡	菅岡	鈴木

株式会社 RISE設計事務所

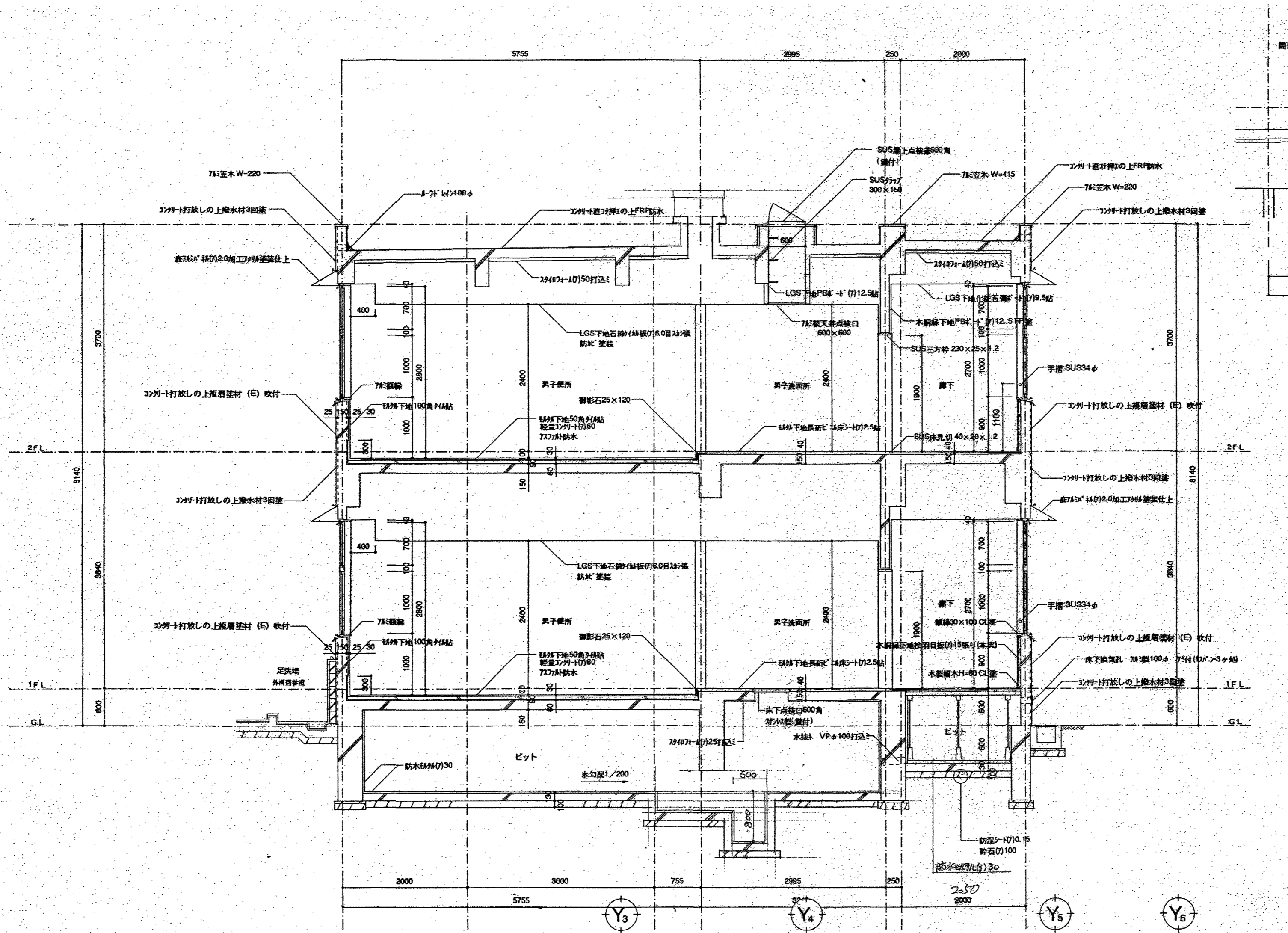
江陽小学校南舎トイレ改修工事

管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
--------------	------	------------	------------

サイン図

SCALE
1:5 20
A



【参考図】

(A3版は) A2 → A3縮小

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

株式会社 RISE 設計事務所

管理建築士 一級建築士大臣登録 第189030号 植村佳史

江陽小学校南舎トイレ改修工事

PLANNING NO.	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
--------------	------	------------	------------

断面図【参考図】

SCALE 21/A